

令和6年度実施分
協働事業・市民活動助成事業
公開プレゼンテーション審査資料

(HP掲載用)

目次(プレゼンテーション発表順)

No	区分	事業名	団体名、事業担当課名	市民活動助成		協働	ページ
				スタート	ステップアップ		
1	2回目	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 市政総合研究室			○	1
2	3回目	地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業	まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課			○	7
3	3回目	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業	認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 国際推進課			○	13
4	新規	みんなで育て みんなでつくる治道の食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム みどりと花の課			○	19
5	3回目	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業	できる街プロジェクト 市民自治課			○	25
6	新規	社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業	サスティナブルな市民活動研究所	○			31
7	2回目	「おひとりさま安心」講演会・相談会事業	特定非営利活動法人おひとりさま安心コンシェルジュ	○			35
8	新規	殺処分ゼロに取り組む事業	あにまるランド	○			39
9	新規	『まつどちゃん』シリーズ製作事業	まつどアソビティ	○			43
10	新規	高齢者の子育てスキルアップ事業	子育て+プラスゆとりにつこり	○			47
11	2回目	ぶどうの家 おもしろ実習教室事業	特定非営利活動法人葡萄の家	○			51
12	新規	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会		○		55
13	新規	漫画・アニメで松戸の子育てPR事業	超普通スタジオ		○		59

No. 1

《 協働事業 》

まつど de SDGs の輪を広げよう
プロジェクト事業

まつど地域活躍塾つながりの会

政策推進課 市政総合研究室

事業計画

	事業名	まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業
	団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
	事業担当課	総合政策部 政策推進課 市政総合研究室
事業概要		
まつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)と松戸市(行政)との連携・協働、市民参加型 SDGs 普及啓発による SDGs の一層の浸透・定着並びに行動意識を高めることを目的とし、市民参加型の事例紹介や勉強会、フォーラム開催等のイベントを実施する。		
松戸市の課題	<ul style="list-style-type: none"> 松戸市は、2022年5月に国の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選ばれたこともあり、市民の中で SDGs の普及啓発による一層の理解浸透・定着を図りながら、市民レベルでの SDGs 達成に向けた行動に繋げていくことが求められている。 また、日本経済新聞社による「全国市区第3回 SDGs 先進度調査(2023年1月)」で県内1位(全国35位)の評価を受けている。 こうした中、市民社会における SDGs の認知度や重要性の理解は高まってきていると感じられる一方で、市内の SDGs の視点を取入れた市民活動や地域社会での取組みを「見える化」し、市民レベルで SDGs を推進する地域活動の活性化へつなげていくところに課題がある。 	
事業の目的	本事業では、まつど地域活躍塾つながりの会(市民団体)と松戸市(行政)とのパートナーシップにより市民に対しローカル SDGs の取組みに関与・参加する機会を創出することで、市民の SDGs に対する理解および行動意識を高め、アクションを起こすことにつなげることを目的とする。	
事業内容	<p>市民における SDGs の理解とその浸透・定着を図り、地域振興や社会課題解決に取り組んでいく市民の行動意識を高めるため、SDGs 推進に関する「①市内の事例集の内容を共有する発表会・意見交換」、「②地域学習会」、「③フォーラム」、「④ネットワーク団体との会合」の主に4つ活動を行う。</p> <p>1 各活動の概要</p> <p>① <u>市内の事例集の内容を共有する発表会・意見交換の開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 時期・回数: 2024年4月～12月の中で2回開催(チラシ・Webで広報) 対象: 市民、団体 松戸市協働事業(令和5年度実施分)で松戸版 SDGs 活動事例集に載せる活動を実施する団体が、その取組みの発表を行う。 参加する市民や団体間で意見交換や相互の協力関係づくりができる場をつくる。 <p>② <u>地域学習会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 時期・回数: 2024年9月～12月の中で2回開催(チラシ・Webで広報) 対象: 市民(特に地域で SDGs の推進を行っていきたい方) 当会と松戸市で SDGs 推進の取組みについて地域学習会を実施する。 	

- ・ 必要に応じて外部講師を招聘し、地域でのSDGs推進活動の実践につながる内容とする。

③ フォーラム

- ・ 時期・回数: 2025年1月～2月の中で1回開催(チラシ・Webで広報)
- ・ 対象: 市民、団体
- ・ 松戸市協働事業(令和5年度実施分)で実施するアクション・プラン企画コンテストでの受賞団体等が実際の取組みについて発表・講演を行う。
- ・ 外部講師等を招聘したトークセッションやパネルディスカッションも検討していく。
- ・ 市民参加を促すためのSDGsをテーマとしたゲームやMySDGsづくり等のイベント開催も検討する。

④ ネットワーク団体との会合

- ・ 時期・回数: 2024年5月～12月の中で2回実施
- ・ 対象: ネットワーク団体を中心とした団体
- ・ 当会構築のSDGs推進を行うネットワークに参画する団体について、現状の19団体に加え、新たに参加する団体にも呼びかけ、上記①～③の取組みの広報や講師等の協力依頼を行い、本事業の促進を一層図る。

2 スケジュール

	①事例集発表会	②地域学習会	③フォーラム	④ネットワーク団体会合
2024年4月	打合(市)事例発表会の広報作業(チラシ・ウェブ作成等),発表者の調整			
5月				第1回開催 場所:サポセン
6月	一般参加者募集 対象:松戸市民			
7月	第1回目開催 場所:サポセン			
8月				
9月	打合(市)事例発表会の広報作業(チラシ・ウェブ作成等),発表者の調整	準備、講師検討、広報作業(チラシ・ウェブ作成等),参加者募集	打合(市・関係者) 募集要項検討	
10月	一般参加者募集 対象:松戸市民			
11月	第2回目開催 場所:サポセン	第1回目開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGsネットワーク団体等	広報作業(チラシ・ウェブ作成等)	第2回開催 場所:サポセン
12月		第2回目開催 対象:松戸市民 外部講師:SDGsネットワーク団体等	参加募集 開催準備	
2025年1月			コンテスト開催 開催場所:サポセン,講師(市,SDGsネットワーク団体,つながりの会,専門家<有識者>)	
2月				
3月				

<p>事業の目標</p>	<p>当会と松戸市との連携・協働により市民参加型によるローカル SDGs の広がりを持たせるための今回の事業目標は、下記の通り主な 3 つの活動ごとに設定する。</p> <p>① <u>市内の事例集の内容を共有する発表会・意見交換</u></p> <p>今年度作成する事例集より 6 事例以上の団体等による取組みを発表する。</p> <p>② <u>地域学習会</u></p> <p>SDGs の地域学習会(計 2 回)の実施により計 40 人(20 人程/回)が参加し、地域で SDGs 推進活動を行う意思のある市民とのつながりをつくる(参加者の意見集約等により把握)。</p> <p>③ <u>フォーラム</u></p> <p>市民 50 人以上が参加し、多くの市民に松戸市における SDGs 推進の理解を促進する。</p> <p>④ <u>ネットワークとの会合</u></p> <p>現行の 19 のネットワーク団体に加え、あらたに 3 団体が参加して 22 団体へネットワーク団体を広げる。</p>
<p>協働の必要性 (団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当会では、既に 2023 年より協働事業として、「まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業」を進めており、当事業を通して市と協働することで、引き続き松戸市の「SDGs 未来都市」としての取組みを後押し、市民社会でのローカル SDGs の推進に貢献したいと考えている。 ・ 市と協働することで、市民に向けて市からも情報発信され、より多くの市民にローカル SDGs の取組みを知ってもらい、市民社会で広く SDGs の必要性と理解を深め、行動意識を高めていくことにつながる。
<p>協働の必要性 (市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当会と連携することで、地域や市民に根差した SDGs 推進を進める上での相乗効果が期待できる。 ・ また、市民の立場で SDGs の普及啓発を行ってきた当会のこれまでの経験と実績、地域や人とのつながりを活かすことで、市の取組みとの連携の裾野拡大等が期待でき、協働する意義は大きいと考える。
<p>事業実施の役割 分担</p>	<p>【まつど地域活躍塾つながりの会】</p> <p>各実施内容の募集・チラシ作成、講師・応募者・参加者等との連絡・調整、事例集発表会・地域学習会・フォーラムの開催など</p> <p>【松戸市市政総合研究室】</p> <p>各実施内容への協力・助言、広報・情報発信、外部講師紹介、事例集発表会やフォーラム実施への協力、地域学習会の協働開催など</p>
<p>今後の展望</p>	<p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs の視点を持ち合わせたまちづくりを実装するためのリーダーもしくはコーディネーター研修会の開催 <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs 事例集、アクションプランコンテストやフォーラムに参加した団体・個人との SDGs をテーマとした対話集会・ワークショップ ・ 町内会、市民活動団体等を対象とした SDGs 地域学習会の継続 ・ 市民を対象とした SDGs イベントの開催(親子 SDGs カルタ大会、ビンゴゲーム大会等)

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 271,584	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 41,630	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 41,630	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 178,020	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 219,650	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	事例集発表(外部講師): 5,000円×3人×2回 地域学習会(外部講師): 5,000円×2人×2回 フォーラム基調講演・パネリスト(外部講師): 20,000円×2人
	消耗品費	¥ 2,000	打合せ・学習会用の文房具(ペン、ポストイット等)一式 2,000円
	印刷製本費	¥ 38,000	事例発表会用のチラシ: 4円×1,000枚×2回 地域学習(2回開催)のチラシ印刷: 4円×2,000枚 地域学習の資料印刷: 10円×10枚×60人 フォーラムのチラシ印刷: 4円×2,000枚 フォーラムの資料印刷: 10円×10枚×80人
	食糧費	¥ 1,800	外部講師 飲料代: 150円×延べ12人
	使用料及び賃借料	¥ 62,300	SDGsネットワーク団体等の関係者との打ち合わせ(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×2時間×2回 SDGsの地域学習(まつど市民活動サポートセンター大会議室等) 660円/時間×3時間×2回 SDGsフォーラム(まつど市民活動サポートセンター多目的ホール) 1,100円/時間×7時間 ペライチウェブ構築(SDGs広報ウェブサイト): 48,000円(ビジネスプラン)/年間
	通信運搬費	¥ 3,700	関係者への資料・チラシ等の郵送代: 370円(レターパック)×10回
	対象経費の合計 (E)	¥ 197,800	
	(その他対象外) 費	通信運搬費	¥ 1,850
チラシ・ウェブデザイン		¥ 20,000	チラシ: 10,000円、ウェブ: 10,000円
その他経費の合計額 (F)		¥ 21,850	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 219,650	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×984円
	①松戸SDGs事例集の内容を共有する 発表会・意見交換 打合せ	31,488円	4人×2h×4回×984円
	発表会・意見交換会の準備	7,872円	4人×1h×2回×984円
	発表会・意見交換会の実施	55,104円	4人×7h×2回×984円
	発表会・意見交換会の事後処理	7,872円	2人×2h×2回×984円
	②SDGsの地域学習 打合せ	15,744円	4人×1h×4回×984円
	地域学習会の準備	7,872円	4人×1h×2回×984円
	地域学習会の実施	55,104円	4人×7h×2回×984円
	地域学習会の事後処理	7,872円	2人×2h×2回×984円
	③松戸SDGsフォーラム 打合せ	23,616円	4人×2h×3回×984円
	フォーラムの準備	23,616円	4人×3h×2回×984円
	フォーラムの実施	27,552円	4人×7h×1回×984円
	フォーラムの事後処理	7,872円	2人×2h×2回×984円
			人×h×回×円
			人×h×回×円
			人×h×回×円
		人×h×回×円	
		人×h×回×円	
合 計 (A)	271,584円		

No. 2

《 協働事業 》

「地域まるごとで孤育を予防する
連携システム事業

まつどでつながるプロジェクト運営協議会

子ども政策課

事業計画

事業名	地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業
団体名	まつどでつながるプロジェクト運営協議会
事業担当課	子ども政策課

事業概要
核家族、経済的貧困、一人親、子・親の障がいを抱えた世帯など、子育てにおいて困難を抱えながら地域で孤立し、支援につながりづらい家庭が、官民の連携により必要なサポートにつながる可以实现するシステムを実現する。

松戸市の課題	<p>核家族化、経済的貧困世帯、ひとり親世帯の増加、子・親の障がいを抱えた世帯、外国人家庭など、子育てにおいて困難を抱えながら地域で孤立し、支援を必要とする家庭が増えている。一方で、そういった家庭に関わる支援者や何気なく地域に関わる人間関係が豊かに増えているとは言い難い。</p> <p>(関連する課題の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松戸市における虐待の相談対応件数は約10年で約4倍に増加(2011年度…年間310件⇒2022年度…年間1404件) ※こども家庭センター資料 ●小学生～中学生の子どもの約4人に1人が生活困難層(困窮層・周辺層) (小学5年生…困窮層7.3%・周辺層16.2%、中学2年生…困窮層8.9%・周辺層16.2%、ひとり親世帯にしぼると約半数が生活困難層) ※2019年3月松戸市子育て世帯生活実態調査より引用 <p>(2022年～2023年度の協働事業で実施した円卓会議で挙げた課題感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予防的アプローチの重要さと連携することの難しさ <ul style="list-style-type: none"> ・自ら手をあげづらい方や、地域や支援とつながっていない方に対して、課題が深まる前に関わることが重要ではあるが、なかなかそこに一歩踏み込むことが出来ていない現状が共有された。 ・上記に対して行政、民間それぞれの多様な窓口やつながり方ができると良いが、対等な立場で意見交換できるような場が少なく、そういった点において地域円卓会議のような場がますます必要になっている。
事業の目的	<p>本事業では、子育て～子どもの成長を取り巻く負の連鎖の予防・緩和・解決に向けて、行政と民間団体、企業、地域住民が協力し合うことのできる仕組みづくりを目的とする。</p> <p>その中で特に、官民それぞれの支援者間の連携を促進するための地域円卓会議の推進と発展、および日常生活の中で子育てに寄り添うことができる市民サポーターの育成と地域で活躍できるネットワークづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域円卓会議の目的…主として対象年齢ごとに関わる行政・民間それぞれの支援者が集まり、現状の取りこぼされている課題について共有し、対話する中で相互の連携に向けた関係づくり、および解決に向けて検討する。 ●市民サポーター育成の目的…資格を伴う専門職ではなく、一般市民の中で日常的に子育てを見守り、あたたかい声掛けができる市民サポーターを増やすことで、地域の網の目を細かくし、孤立を予防する。

事業内容

① 子育て当事者の声を真ん中にした地域円卓会議の実施

・行政・福祉専門職・子育て支援 NPO・子ども食堂など、子育てに関わる多くの機関や団体が集まり、子ども・子育て当事者が置き去りにされない議論、本質的な子育てしやすさを目指す組織間連携を生み出す。

・個人個人の相互理解を育むことを基盤に、それぞれが持っているピース（資源）を持ち寄り、支援とそれを必要としている人が適切につながる体制を生み出していく。具体的には参加者の活動内容や情報を共有するためのツール（メーリングリスト、WEB サイト、冊子など）の運用を進める。

・3年目では参加者へのヒアリングやアンケートを通じて、これまで実施してきた成果を検証し、今後の継続に向けた論点を整理する。特に2年目から行っている検討ワークショップで話し合った内容について、その後どのような変化が生まれたかを検証する。

■ 円卓会議について、参加者は30名程度で年間3回を予定

■ 取り上げるテーマの例（乳幼児期、児童期、青年期）

■ 円卓会議で挙げた具体的なテーマについて、さらに踏み込んで検討する場づくり（検討ワークショップ）を円卓会議後に各3回行う。

② 孤育てを予防する「子育て市民サポーター養成講座」の普及

・地域との関わりの薄い子育て世帯が、妊娠時期より何気ない日常の中でつながりを持ち、必要な支援や制度にたどり着くことができるよう、声掛けやお手伝いできるボランティア養成と活躍できる場とのマッチングを目指す。

・普段の生活の中で子育て世帯に対してあたたかく支えられる地域人材を増やす養成講座を中心として、すでに本市で取り組まれている子育て支援に関わる事業や地域活動におけるボランティアの紹介などを行っていく。

■ 2年間の実施を踏まえて、本講座では地域で何か子ども・子育てを支えていきたいという気持ちを持っている市民が一步踏み出すきっかけを作ることを主なねらいとし、広く周知・普及することに取り組む。

■ 気軽に参加できる講演会を1回、またより深く学びたいという方を対象とした連続講座を3回実施する。

①②に共通する事項

■ 実施により得られた成果を地域に共有することを目的として、外部のレポーターによる記録の可視化（グラレコ等）に取り組む。

年間予定	地域円卓会議	市民サポーター養成講座
共通	実施体制：構成員 対象：官民それぞれで子育て支援に携わる方 場所：松戸駅周辺公共施設	実施体制：構成員 対象：子育て支援に関心のある一般の方 場所：松戸駅周辺公共施設
4月	年間予定、テーマ検討	年間予定の検討
6～7月	★第1回開催～ふりかえり	カリキュラムの見直し
8月～9月	検討ワークショップ	講演会企画の検討
10月	★第2回開催～ふりかえり	↓ チラシ作成～配布
11月	検討ワークショップ	講演会の実施～連続講座
12月	★第3回開催～ふりかえり	実施のふりかえり
1～2月	検討ワークショップ	

事業の目標	<p>○地域円卓会議の開催…年3回の実施（延べ80名の参加者を目標とする）。また検討ワークショップを最低3回実施し、実践につながる事例を目指す。 ※2022年度の検討ワークショップで挙げられた例としては、行政・民間の支援者が合同で学び合う勉強会、ケース検討会の実施など。</p> <p>○市民サポーター養成講座および講演会の実施…子育てを街で支えることを幅広く周知するための講演会（年1回）は参加者50名の集客を目標とし、連続講座（年3回）は受講生20名を目指す。</p>
協働の必要性 (団体)	<p>・子ども食堂や子どもたちの居場所づくりをしている民間の活動において、地域で出会うことができた困難を抱える家庭に対して、行政の支援が必要だと感じた際に、つなげる先が不明であったり、顔が見えていない関係で情報共有しづらいといった課題があるため、円卓会議のように開かれた場で支援者同士が対話できる機会が必要である。</p> <p>・協働事業を進めることによって、行政機関に参加してもらいやすくなることを期待する。また市民サポーターの募集にあたって、広報まつどへの掲載をはじめ、広く市民にPRできる連携を図っていきたい。</p>
協働の必要性 (市)	<p>・本市の子育て支援施策においては、解決すべき課題が多様化、複雑化しており、さまざまな主体の参加と連携が必要となっている。現在、民間との連携において、お互いを知る場や情報共有する機会が少ないのが現状である。</p> <p>・社会全体で子育てを支えていく機運を高めていくためには、市民の方々の参加が必要となる。子どもと子育て家庭を温かく見守り、必要なときに声を掛け合うなど、子どもや子育て家庭に関心を持つ人を増やしていきたいと、考えている。特にこれから地域で増える退職シニアの参画を促していきたい。</p>
事業実施の役割 分担	<p>団体…民間ネットワークへ声掛け、会議や研修の設計と場づくり・運営 担当課…庁内の各部署との橋渡しや調整、会場の確保、市民へのPR</p>
今後の展望	<p>1年目…官民が信頼関係を築くことのできる場づくり、市民参加を促すための市民サポーター養成講座の構築 ⇒実施済み</p> <p>2年目…より開かれた場で多くの支援者が交流することができる場づくり、市民サポーター養成講座の展開（人数拡大）⇒本年度中に達成予定</p> <p>3年目…課題の共有から課題解決につなげる仕組みづくり、講座を受講した市民サポーターの活躍の場とのマッチング</p> <p>※協働事業終了後については、2024年度に策定予定の第3期子ども総合計画における当事業の位置づけを含め、協定書を交わして引き続き官民協働で取り組むなど、方向性を協議していく。</p> <p>※参考（第2期松戸市子ども総合計画） 施策11-2 地域の人子どもと関わる機会を増やす 重点施策 施策12-2 子どもや子育て家庭に関心を持つ人を増やす 重点施策</p>

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 270,600	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 5,000	団体の会計より拠出
	参加費	¥ 20,000	養成講座参加費（1000円×20名）
	自己資金の合計額 (B)	¥ 25,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 225,000	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 250,000	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 170,000	①地域円卓会議レポート謝礼（円卓会議・講演会・養成講座） ①5,000円×5回=25,000円 ②外部講師謝礼（講演会） ②100,000円 ③外部講師謝礼（連続講座） ③15,000円×3回=45,000円
	消耗品費	¥ 11,000	プリンター用インク 2,500円×2セット ワークショップ用付箋など 300円×20個
	印刷製本費	¥ 39,000	資料印刷費（円卓会議） 5円×20ページ×30セット×3回=9,000円 チラシ印刷（養成講座） 5円×3,000枚=15,000円 テキスト印刷（養成講座） 150円×100部=15,000円
	委託料	¥ 30,000	デザイン費（講演会チラシ） 30,000円×1回
	対象経費の合計 (E)	¥ 250,000	
（その他経費）			
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 250,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	円卓会議打合せ	11,808 円	2 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	円卓会議準備	23,616 円	2 人 × 4 h × 3 回 × 984 円
	円卓会議本番	35,424 円	3 人 × 4 h × 3 回 × 984 円
	検討ワークショップ準備	11,808 円	2 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	検討ワークショップ実施	17,712 円	3 人 × 2 h × 3 回 × 984 円
	円卓会議ふりかえり	26,568 円	3 人 × 3 h × 3 回 × 984 円
	養成講座打合せ	15,744 円	2 人 × 2 h × 4 回 × 984 円
	養成講座準備	39,360 円	2 人 × 4 h × 5 回 × 984 円
	養成講座本番	59,040 円	3 人 × 4 h × 5 回 × 984 円
	養成講座ふりかえり	29,520 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円	
		人 × h × 回 × 984 円	
		人 × h × 回 × 984 円	
		人 × h × 回 × 984 円	
合 計 (A)	270,600 円		

No. 3

《 協働事業 》

日本語を母国語としない
子どものための学習支援事業

認定 NPO 法人
外国人の子どものための勉強会

国際推進課

事業計画

	事業名	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業
	団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
	事業担当課	国際推進課
事業概要		
日本語を母国語としない子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す。		
松戸市の課題	<p>松戸市では外国籍市民数が年々増加しており、それに伴い日本語を母国語としない子どもも増加している。こうした子どもたちの中には、言葉の障壁や、文化の違いによりいろいろな困難が発生する。</p> <p>① 周回と円滑なコミュニケーションが行えない。</p> <p>② 授業を理解できない。</p> <p>③ 就学や就労の情報が得にくい。</p> <p>このような問題が、地域から子どもを孤立させたり、子どもの学習機会の喪失につながるものが危惧される。</p>	
事業の目的	<p>① 日常生活や学習に必要な日本語指導及び学習支援を行い、すべての子どもが均しく学べるようにする。</p> <p>② 就学や就職など将来における選択肢を幅広く持ち、真に自立することを促す。</p> <p>③ 子どもが地域から孤立しないための時間と場所を提供し安心して暮らすことのできる環境づくりを推進する。</p>	
事業内容	<p>下記の3つの事業を行うことで、日本語を母国語としない子どもを対象にした学習及び生活支援を強化する。</p> <p><u>1. 当勉強会のスタッフ、特に学生スタッフを増やす</u></p> <p>令和5年度に大学生に夏休み教室を企画運営してもらい、若い人たちの発想を生かした教室を実施した。この実績を生かし大学生など若い人材が外国人の子どもたちと接する機会を増やし、多文化共生への理解を深めてもらう。さらに当会教室のスタッフとしての参加につなげ、子ども達に将来のロールモデルとして接する機会を増やす。</p> <p>文化ホール教室 土曜 中学生対象 常盤平教室 火曜 小学生対象 木曜 中学生対象 土曜 小学生対象 新松戸教室 水曜 小中学生対象 夏休み教室 小・中学生対象</p>	

受験教室 中学3年生対象

1- (1) スタッフ養成講座を企画し初めての参加希望者にも日本語指導の基礎を学べる機会をつくる。ボランティア募集ホームページやチラシ広報などを利用して広く呼びかける。

1- (2) 2023 年度夏休み教室に初めて参加した外国ルーツの子ども達の多くが引き続き当教室へ入会の希望があった。しかし各教室ともスタッフ数や机のスペースがぎりぎり受け入れ出来ない現状だった。その解消に向けて土曜日午後に新たに常盤平教室の開設をめざす。

2. オンライン授業の導入

在籍生徒だけでなく新たに参加してくる生徒にもオンライン授業の希望を確認し、対応できる環境作りを目指していく。同時に昨年に引き続き全スタッフがオンラインでの授業のやり方を勉強する機会を設け、希望する生徒とスタッフのマッチング機会を増やし実績をつんでいきたい。

生徒の入会申込み用紙、スタッフの参加申込用紙ともにオンライン授業参加の希望有無を記載してもらう欄の追加を検討する。

3. 地域との協働

常盤平団地周辺で活動する「子ども食堂まんぶく小屋」が〈居場所作り〉の活動を計画している。ここは日本人、外国人の区別なく子どもを受け入れるが当会はそこに出張授業（1～2 回/年）として参加し日本語に困っている子ども達の学習支援を行う事を企画。

※1・3 は、チラシを作成し、市公共施設等に配架して日程等を周知する。

4. スケジュール

	取り組み	実施体制
4 月	1- (2)・常盤平新教室開設	待機中の教室参加希望生徒、 当会員、スタッフ参加希望者
4 月	2・オンライン授業開始	新年度参加で希望する生徒、当会員
5 月	3・出張授業開始	地域の外国にルーツを持つ子ども、 当会員
7 月	2・オンライン授業勉強会	全スタッフ
7 月	1- (1) スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、 外部講師
7 月	夏休み教室（5 日間）	地域の外国にルーツを持つ子ども、 在籍生徒、当会員

	<table border="1"> <tr> <td>9月</td> <td>1- (1)・スタッフ養成講座</td> <td>スタッフ参加希望者、当会員、外部講師</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2・オンライン授業の拡大</td> <td>年度途中参加で希望する生徒、当会員</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>受験教室 (5ヶ月)</td> <td>2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>2・オンライン授業評価会</td> <td>全スタッフ</td> </tr> </table>	9月	1- (1)・スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、外部講師	9月	2・オンライン授業の拡大	年度途中参加で希望する生徒、当会員	10月	受験教室 (5ヶ月)	2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員	3月	2・オンライン授業評価会	全スタッフ
9月	1- (1)・スタッフ養成講座	スタッフ参加希望者、当会員、外部講師											
9月	2・オンライン授業の拡大	年度途中参加で希望する生徒、当会員											
10月	受験教室 (5ヶ月)	2024年高校受験を目指す当会生徒及び地域の外国にルーツを持つ子ども、当会員											
3月	2・オンライン授業評価会	全スタッフ											
事業の目標	<p>① 勉強会の学生スタッフ増 (令和5年度末人数+3名)</p> <p>② オンライン授業の実施 (10回実施)</p> <p>③ 地域との交流事業の実施 (1回以上)</p>												
協働の必要性 (団体)	<p>当勉強会が、行政と連携することで、行政の抱える課題の共有、事業の周知及び会場の確保を一層強化することができ、かつ事業活動の範囲を広げることができると考えている。</p>												
協働の必要性 (市)	<p>松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。行政が、当勉強会と連携することで、言語の障壁や、文化の違いのために、日常生活を送ることにストレスや不安を感じる子どもたちに居場所を提供することができる。また、地域と子どもたちのかかわりを構築し、地域の人々に日本語を母国語としない子どもへの理解や協力を促すことができる。</p>												
事業実施の役割 分担	<p>① 団体：事業の実施 (定例勉強会の運営、地域との協働)</p> <p>② 担当課：会場の提供、事業実施に係る広報活動</p>												
今後の展望	<p>今までの協働事業の取り組みで外部から多彩な講師を招き多くの市民の方と学ぶことができ、当会への関心を持ち参加を希望される方も増えた。また近隣大学に学生ボランティアを募集にいて繋がりもできた。</p> <p>今後も広く市民、学生へ活動への参加を呼びかけ、外国ルーツの子ども支援の重要性・必要性を掴んでもらい、増え続ける外国ルーツの子どもへの日本語・学習支援を安定的に継続していきたい。子どもたちにとって大学生はじめ多様なスタッフと触れあう心地よい居場所も目指したい。</p> <p>また日本語学習に問題を抱える子どもたちにとって安定的な教室の確保が重要なため〈文化ホール国際友好ルーム〉と〈新松戸市民活動支援コーナー〉にて今後も継続的に支援を行う。そして常盤平地区については現在の場所が利便性は良いが収容能力が不十分なため、当面は教室回数を増やすことで対応し、当会独自でも新たなスペースを見つける努力をしていく。</p>												

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,918,544	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 135,920	事業費の一部を団体の会計より拠出
	生徒参加費	¥ 270,000	3,000円×3学期×30人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 405,920	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 905,920	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 230,000	スタッフ養成講座講師謝金50,000円×2回 受験教室・夏休み教室外部スタッフ謝金 2,000円×5人×13回
	消耗品費	¥ 120,000	インク・コピー用紙・文房具・手指消毒液、事務用品、衛生関連諸費等計50,000円、図書・教材費2,000円×35部
	印刷製本費	¥ 60,000	定例勉強会 生徒募集チラシ印刷（日本語・中国語・英語・ベトナム語） 20,000円（20円×250部×4言語） 養成講座・夏休み教室・受験教室・交流会 チラシ印刷 40,000円（20円×2000部）
	使用料及び賃借料	¥ 346,920	定例教室使用 常盤平教室：19,000円×12回、 新松戸教室：1800円×4回 夏休み教室：1000円×5回 受験教室：800円×25回 文化ホール教室授業運営会議：700円×8回 オンライン授業用 ポケットWi-Fi 5,000円×12ヵ月 ZOOM ID 1,760円×12ヵ月
	食糧費	¥ 3,000	講師講演中飲物、外部スタッフ生徒飲物 300円×10本
	対象経費の合計 (E)	¥ 759,920	
(その他)経費	交通費	¥ 30,000	外部団体訪問等 1500円×5人×4回
	印刷製本費	¥ 30,000	会報 10,000円×3回
	通信運搬費	¥ 66,000	活動報告会報郵送代 22,000円×3回
	その他	¥ 20,000	オンライン授業用PC
	その他経費の合計額 (F)	¥ 146,000	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 905,920	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	定例勉強会の受入れ生徒数を増やすための周知活動（チラシの作成・配布）	7,872 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	定例勉強会における授業の実施	2,715,840 円	46 人 × 2 h × 30 回 × 984 円
	集中勉強会の準備	49,200 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	オンライン授業の実施	47,232 円	2 人 × 2 h × 12 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の準備	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の実施	78,720 円	10 人 × 4 h × 2 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
合 計 (A)	2,918,544 円		

No. 4

《 協働事業 》

みんなで育て みんなでつくる
沿道の食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

みどりと花の課

事業計画

	事業名	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観事業
	団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム
	事業担当課	みどりと花の課
事業概要		
沿道の住宅や店舗前、地域の拠点等で、野菜やハーブなどを育てる「食べられる景観」づくりや、植物クラフト活動を実施する。生活に身近な場所での園芸活動を通じ、住民の交流を促進し、地域コミュニティ向上、地域環境を学び合う場を創出する。		
松戸市の課題	<p>社会課題：核家族化、単身世帯の増加などから、近所づきあいなど地域での交流の機会が減少しています。松戸市でも、高齢者の単身世帯が増加しており、地域でのゆるやかなつながりづくりが課題と考えています。</p> <p>みどりの課題：令和4年に新たな「松戸すみどりの基本計画」が策定されました。「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」をテーマに、基本方針に「「みどりの市民力」を豊かにする」、「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」が掲げられています。松戸市では里山ボランティアなどみどりの市民活動は盛んですが、一般市民の方の生活の中で、みどりに感じられる場面は少ないことが課題と考えられます。本事業では、生活に身近な場所で、野菜を栽培する景観づくりやハーブクラフトなどみどりに感じる活動を市民の方に提供することができると考えています。また、園芸活動を通じ、地域でのゆるやかなつながりづくりに貢献できると考えています。</p>	
事業の目的	<p>① 野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりを行い、みどりの市民力向上や、みどりのあるライフスタイルの推進に寄与すること。</p> <p>② 園芸活動を通じた地域でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できる近所づきあいを増やすこと。</p> <p>③ 園芸活動や植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学び合う機会や、多世代での交流の機会をつくること。</p>	
事業内容	<p>1. 事業内容</p> <p>① 食べられる景観づくり（通年、植え替え：4-5月・9-11月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの松戸三丁目東自治会を中心とした地域で、沿道の個人宅、事業所前の私有地側の空間にお揃いのプランターを設置し、野菜やハーブを育てる。 ・ 同地域の地域拠点施設（地域包括支援ケアセンター、学童クラブ、小規模保育所などを想定）や、みどりと花の課が管理する植栽などにも、食べられる景観を展開し、地域のみどりのつながりを広げる。 ・ 植え替え時期に、外部講師を招き、リレー栽培講座を開き、見た目も美しく、持続可能な野菜の育て方を学ぶ。（年2回） ・ 地域拠点や、住民の有志と育苗活動を実施する。（年2回） ・ 植え替え時期には、タネ・苗の配布交換会を開催する。（年2回） ・ プランターに設置しているサインの作成・修理会を開催する。（年1回） 	

- ⇒ 市民主体の景観づくり活動を推進する。園芸活動を通じた交流が生まれ、地域の緩やかなつながりづくりに貢献できる。地域拠点施設にも展開することで、より多様な市民の方とみどりのつながりを発展できる。
- ② 子ども向けクラフトワークショップの開催（年2回）
- ・ 市内の子ども向けに植物クラフトワークショップを開催し、ものづくりを通じた身近な地域環境の学びと交流の場を設ける。
- ⇒ 植物クラフトづくりの機会から、地域環境に目を向け、みどりに興味を持つきっかけを提供する。学年をこえたつながりづくりに貢献できる。
- ③ ハーブクラフト講座（年2回）
- ・ 大人向けにハーブを活用した講座を行い、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことで、栽培活動への意欲向上と交流を進める。
- ⇒ ハーブの知識を学ぶことで、育てたハーブを気軽に使うことができ、栽培意欲につながる。また、ものづくりを通じ、世代や地域をこえたつながりづくりに貢献できる。
- ④ 情報発信：
- ・ 普及・啓発のために、SNS等での情報発信をする。（月1回以上）
 - ・ みどりのまちづくりに関する絵本の読み聞かせ会を実施する。（年2回）
- ⇒ 松戸市内にもみどりの活動や景観づくりの普及・啓発ができる。また、絵本をきっかけに、子どもがより興味・関心を持って活動に取り組める。

2. スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4-5月・9-10月	①栽培講座・タネ・苗配布交換会、植え替え活動、	A. 実施体制：外部講師、会員有志、 B. 対象：エディブルウェイプロジェクト（以下、EW）参加者、 C. 場所：自治会館 or 市民会館（参加費500円、定員15名、2回）
5月・11月	①地域拠点施設での植え付け活動	A. 会員有志、拠点施設職員、地域住民有志、 B. 拠点施設、地域住民、 C. 拠点施設、課が管理する植栽等
8・3月	① タネ取り・育苗活動	A. 会員有志、B. EW参加者有志、 C. 自治会館 or 市民会館
6月・11月	②クラフトWS開催	A. 会員有志、外部講師、B. 子ども、 C. 自治会館 or 市民会館（参加費1000円、定員20名、2回）
7月・12月	③ハーブクラフト講座開催	A. 会員有志、外部講師、B. 地域住民、 C. 自治会館 or 市民会館、（参加費1500円、定員20名、2回）
毎月	④情報発信(SNS)	A. 会員有志、B. SNSで発信
4・9月	④絵本の読み聞かせ会	A. 会員有志、B. 子ども、C. 絵本のある部屋 こでまり、無料開催

事業の目標

- ・ 食べられる景観づくりについては、沿道の新規参加者（5世帯）、地域の拠点施設への展開（1カ所以上）を目指す。
- ・ タネ取り、育苗活動を実施し、植え替え時期に、タネ・苗は交換会とし

	<p>て開催できることを目標とする。(年2回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物を用いたイベントの開催を行い、学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識を共有する。(年4回開催) ・ 各イベントには、市内の他地域からも参加いただくこと。(20名定員で半数は、プロジェクト地域から、半数は、他地域程度を目標とする。)
協働の必要性 (団体)	<p>団体の活動が7年目となり、市民活動として、地域住民の方と運営を継続し、食べられる景観づくりだけではなく、クラフトづくり、絵本の読み聞かせ会などへ、活動の幅が広がっています。松戸市のみどりを担う課との協働事業として行うことで、地域の拠点施設などでも展開が実現できれば、地域のみどりや、人のつながりはさらに強化できると考えています。</p> <p>協働事業で進めることで、当団体の活動が、松戸市のみどりの基本計画に掲げられた「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」の手法の一つとして発展し、市民の活動により、松戸市のみどりやそれを享受する市民のみどりのあるライフスタイルにも貢献できるものと期待しております。</p>
協働の必要性 (市)	<p>松戸市みどりの基本計画のテーマである「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」の推進のため、「みどり・人・暮らし」をつなげる実践の場を広げていく必要があります。エディブルウェイプロジェクトは、食べられる景観づくりやワークショップを通じた地域のコミュニティづくりに十分な実績があり、ノウハウを継承・冊子化等により、新たな地域への活動の拡大を期待しています。</p>
事業実施の役割 分担	<p>令和6年度の活動での役割分担</p> <p>団体：プロジェクト地域での事業企画・運営・実施 担当課：地域との連携サポート</p> <p>今後3年間の活動を想定した役割分担</p> <p>団体：プロジェクト地域での事業企画・運営・実施、新たな拠点における活動の立ち上げの支援、地域との連携、エディブルウェイプロジェクト要領のマニュアル化 担当課：新たな活動の場の提供(基盤の整備含む)、地域との連携サポート</p>
今後の展望	<p>令和6年度 現在の活動地域における地域拠点施設への活動の展開・拡充</p> <p>令和7年度 食べられる景観づくりモデルづくり、新拠点への展開支援。 地域への理解醸成・コミュニティづくり</p> <p>令和8年度 エディブルウェイプロジェクトマニュアルづくり。食べられる景観づくりモデルケースを増やす。ワークショップ開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働事業終了後は、エディブルウェイプロジェクト要領のマニュアル化により、松戸市内各地域で食べられる景観づくり(エディブルウェイプロジェクト)の普及活動と立ち上げ支援。地域コミュニティの活性化を目指します。 ・ 市内イベント等で、自分たちで生産した苗やクラフトグッズの販売、ワークショップ開催などの収益により、活動資金を調達し、活動継続できることを目指します。

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 382,776	※別紙 労力換算計算書 参照

【収入】

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 115,000	(1)リレー栽培講座500円*15人*2回、(2)クラフトWS 1000円*20人*2回、(3)ハーブクラフトWS 1500円*20人*2回
	自己資金の合計額 (B)	¥ 115,000	
市	協働事業員負担金 (C)	¥ 447,600	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 562,600	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 180,000	講座外部講師謝礼金（事前打ち合わせ・講座開催）（30,000円*6回）	
	消耗品費	¥ 271,000	【食べられる景観づくり】 ・布製プリンター（500円*20個） ・木製プリンター（3000円*10個） ・プリンターロゴ印刷シルクスクリーン版（3000円） ・シルクスクリーンインク（3000円*1個） ・土再生材 10kg（5500円*2個） ・ミミズ堆肥 5kg（1000円*4個） ・培養土40L（1400円*25個） ・野菜苗（育苗が困難な種類）（200円*80個） ・タネ（300円*20個） ・育苗用資材一式（育苗ケース・ポット・用土など）（5000円*2回） ・クラフトサイン修理・材料一式（フェルト・防水ボンド等）3000円 【クラフト講座】 ・クラフト材料費（フェルト、蜜蝋、麻紐等）（2000円*2回） ・ハーブクラフト材料費（花材、アロマオイル、瓶等）（3000円*2回） 【活動全般】 ・参考書籍（クラフト・園芸福祉活動等）（2000円*5冊） ・まちづくり絵本（2000円*5冊） ・文具類一式（付箋、封筒、コピー用紙等）5000円 ・作業用エプロン（1000円*10枚） ・園芸道具類一式（養生シート、移植ゴテなど）5000円	
	使用料及び賃借料	¥ 12,800	・自治会館（講座・育苗会 計8回*1600円） (1)リレー栽培講座、タネ・苗配布交流会*2回、育苗会*2回、(2)クラフトワークショップ*2回、ハーブクラフト講座*2回	
	食糧費	¥ 15,000	(1)講座参加者お茶代（100円*15人）*2回、拠点植付活動参加者お茶代（100円*20人）*2回、(2)(3)参加者お茶代（100円*20人）*4回	
	通信運搬費	¥ 3,360	・切手代（メールなし20世帯*84円*2回）	
	印刷製本費	¥ 14,200	・チラシ印刷費（A4両面カラー15円*100部）*8回 ・資料コピー代（10円*220枚）	
	保険料	¥ 2,240	ワークショップ保険料 20名まで560円*4回 （クラフト講座、地域拠点植え付け時に加入予定）	
	対象経費の合計 (E)	¥ 498,600		
	（その他経費）	食糧費	¥ 20,000	お弁当代（(1)植え替えスタッフ500円*10名*4回）
		交通費	¥ 38,000	資材運搬用交通費（レンタカー）5000円*2回 学生スタッフ交通費（2名分往復2000円*8回） 講師交通費（往復2000円*6回）
通信費		¥ 6,000	・ホームページサーバーレンタル年間（4000円） ・ホームページドメイン年間（2000円）	
その他経費の合計額 (F)		¥ 64,000		
合計額 (G) = (E+F)		¥ 562,600		

【チェック項目】

- 1 協働事業員負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業員負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業員負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項目	換算額	積算内訳
活動計画		人数×時間回数×984円
WS・講座打ち合わせ(6回)	35,424 円	3 人 × 2 h × 6 回 × 984 円
WS・講座準備(6回)	59,040 円	5 人 × 2 h × 6 回 × 984 円
WS・講座開催(6回)	118,080 円	5 人 × 4 h × 6 回 × 984 円
育苗会準備(2回)	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
育苗会開催(2回)	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
クラフトサイン作成・修理会(1回)	14,760 円	5 人 × 3 h × 1 回 × 984 円
タネ・苗交換会準備(2回)	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
タネ・苗交換会開催(2回)	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
絵本読み聞かせ会準備(2回)	11,808 円	3 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
絵本読み聞かせ会開催(2回)	11,808 円	3 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
地域拠点打ち合わせ(4回)	23,616 円	3 人 × 2 h × 4 回 × 984 円
地域拠点植え付け活動(2回)	29,520 円	5 人 × 3 h × 2 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
		人 × h × 回 × 984 円
合計 (A)	382,776 円	

労力換算額

No. 5

《 協働事業 》

町会・自治会の活動を PR して
親しみを持ってもらおう事業

できる街プロジェクト

市民自治課

事業計画

	事業名	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業
	団体名	できる街プロジェクト
	事業担当課	市民自治課
事業概要		
<p>○松戸市町会・自治会の活動内容を調査・ヒアリングをし、PRする漫画やアニメを制作</p> <p>○制作した漫画・アニメを、市のHPや団体のHP・SNSで発信</p> <p>○これまで制作した漫画をまとめた漫画冊子を制作</p> <p>○制作・発信を行い、町会・自治会の活動に親しみを持ってもらう</p>		
松戸市の課題	<p>松戸市ではベッドタウンという土地柄や東松戸地区の開発などで、人口は増加傾向にあるものの、町会・自治会としては単身世帯や外国籍の方の増加、アパートの増加などで町会加入のアプローチがしにくく、結果として町会加入率が低下しています。これにより、町会活動の維持や人員不足に悩む町会・自治会も多くなっています。</p> <p>加入率の低下は、地域のつながりが薄れ、災害時などの困ったときに周囲に頼れる人がいない、情報が伝わらない等の2次災害のおそれにもつながります。これを防ぐため、市では加入促進チラシを作成し、配布する等の取り組みが行われていますが、抜本的な解決には至っておりません。</p> <p>加入率低下については、町会・自治会が何をしているのかわからないため、加入できないでいることが一つの要因として考えられます。町会・自治会の活動を周知し、親しみを持ってもらうことで加入率の低下を防ぎ、人員不足の解消につながると考えます。</p>	
事業の目的	<p>この事業の目的は、「町会活動の認知度向上」「町会加入率の低下を防ぐこと」です。町会加入率増加のための第1目標として、「加入率の低下を防ぐこと」に取り組んでいきます。市民の方が町会・自治会の活動に親しみを持ち、町会・自治会の加入率向上、人員不足の解消を目的に活動します。</p>	
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>A. 松戸市町会・自治会PR内容の調査・ヒアリング →松戸市町会・自治会の情報収集を行います。町会活動についてヒアリングを行い、漫画・動画の内容を検討します。 【対象】インク(カラー6色セット)、プリンタ用紙</p> <p>B. 松戸市町会・自治会PR漫画の制作・公開 →松戸市町会・自治会連合会公式キャラクター『まつかめ』と松戸市町会・自治会PRキャラクター『じちまる』が登場する町会・自治会の活動をストーリー仕立てで紹介する漫画を2話制作します。 →制作した漫画は、市のHPや団体のHP・SNSで発信します。 【対象】漫画仕上げ代</p>	

	<p>C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開 →B で制作した漫画をベースにアニメを2話制作します。 →制作したアニメは、市のHPや団体のHP・SNSで発信します。 【対象】 台本発注費、声優出演費、スタジオ使用料、音響機材レンタル費、BGM制作費</p> <p>D. 松戸市町会・自治会 PR 漫画冊子の制作・無料配布 →松戸市町会・自治会 PR を目的とした漫画冊子を1冊(3,000部)制作します。主に松戸市転入者への無料配布を行います。 【対象】 漫画冊子仕上げ委託費、冊子印刷費</p> <p>E. 宣伝・プレスリリース フライヤー、ポスターを制作し、松戸市内各所に掲示します。また、本庁舎3ヵ所及び8支所の電子モニターでプロモーション映像を放映します。さらに、プレスリリースを行うことで、全国のより広い地域へ本事業を知ってもらい、大きな注目度を集めます。 【対象】 ポスター印刷費、フライヤー印刷費</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="448 1003 1406 1585"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～5</td> <td>A. 内容調査・ヒアリング</td> <td>A. 構成員、市民自治課 周知対象：町会</td> </tr> <tr> <td>6～11</td> <td>B. PR漫画の制作 C. PRアニメの制作 D. PR漫画冊子の制作</td> <td>B. 構成員、市民自治課、町会 C. 構成員、市民自治課、町会、声優(村田綾野、萱沼千穂他2名) D. 構成員、市民自治課、町会</td> </tr> <tr> <td>12～3</td> <td>B. PR漫画の公開 C. PRアニメの公開 D. PR漫画の無料配布 E. 宣伝・プレスリリース</td> <td>B. 構成員、市民自治課 C. 構成員、市民自治課 D. 構成員、市民自治課 E. 構成員、市民自治課 周知対象：町会、市民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～5	A. 内容調査・ヒアリング	A. 構成員、市民自治課 周知対象：町会	6～11	B. PR漫画の制作 C. PRアニメの制作 D. PR漫画冊子の制作	B. 構成員、市民自治課、町会 C. 構成員、市民自治課、町会、声優(村田綾野、萱沼千穂他2名) D. 構成員、市民自治課、町会	12～3	B. PR漫画の公開 C. PRアニメの公開 D. PR漫画の無料配布 E. 宣伝・プレスリリース	B. 構成員、市民自治課 C. 構成員、市民自治課 D. 構成員、市民自治課 E. 構成員、市民自治課 周知対象：町会、市民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など											
4～5	A. 内容調査・ヒアリング	A. 構成員、市民自治課 周知対象：町会											
6～11	B. PR漫画の制作 C. PRアニメの制作 D. PR漫画冊子の制作	B. 構成員、市民自治課、町会 C. 構成員、市民自治課、町会、声優(村田綾野、萱沼千穂他2名) D. 構成員、市民自治課、町会											
12～3	B. PR漫画の公開 C. PRアニメの公開 D. PR漫画の無料配布 E. 宣伝・プレスリリース	B. 構成員、市民自治課 C. 構成員、市民自治課 D. 構成員、市民自治課 E. 構成員、市民自治課 周知対象：町会、市民											
事業の目標	①漫画制作【制作漫画数：2話、SNSでの視聴回数：10,000回】 ②動画制作【制作動画数：2本、SNSでの視聴回数：10,000回】 ③無料配布用漫画冊子【1冊(28P程度)、制作冊数：3,000部】 ④2024年度の町会・自治会加入率【2020年度と同等の加入率67.85%】												
協働の必要性 (団体)	・団体は協働することで、町会・自治会の正確な情報を入手し、発信することが可能です。 ・市の公認であることで、情報元の信用度が高まり、市民の方も安心して情報を受け取ることができます。												

<p>協働の必要性 (市)</p>	<p>松戸市で地域活動への参加に消極的な層は、主に単身世帯やアパート居住者で比較的若年層が多く、こういった年齢層に町会・自治会活動に参加していただくことで、地域活性化につながるとともに、町会・自治会で抱えている役員の高齢化や人員不足といった課題への解決にもつながります。</p> <p>そのため、市では町会加入を促進すべく、若い世代が触れやすいX（旧Twitter）や市HP等を活用し町会・自治会活動周知に向けて取り組んできましたが、町会・自治会そのものへの興味を持ってもらう誘因に乏しく、町会加入率向上には至っておりません。</p> <p>若い世代が興味を持ち、気軽に見てもらいやすい媒体としては、とりわけYouTube等のインターネット動画や漫画が挙げられますが、市ではそういったツールを活用する手段に乏しく、作成のノウハウのある団体と協働する必要性が高いと言えます。</p> <p>また、SNS等での発信力を持つ団体と協働することで、より広く効果的に町会・自治会活動の周知を行えるため、町会加入率向上が期待できます。</p>
<p>事業実施の役割 分担</p>	<p>① 団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会 PR 内容の調査・ヒアリング ・脚本、漫画、アニメの作成 ・団体の YouTube に投稿 ・SNS による PR <p>② 担当課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の見込める内容、PR したい内容のピックアップ ・市で行った町会・自治会活動についての調査をもとにヒアリングする町会・自治会を選定 ・松戸市内の町会との連携 ・制作物の内容の確認、修正 ・プレスリリース ・松戸市の YouTube（まっちゃんねる）に投稿 ・市HP・SNS による PR
<p>今後の展望</p>	<p>【協働事業3年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画とアニメの制作 ・漫画冊子（第2版）の制作 <p>【協働事業終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働事業で得られた成果物を活用して市内の小学校へ漫画冊子を配布し、まずは子どもたちに町会活動に興味をもってもらい、子どもから大人へ町会の魅力を伝えることで町会の加入率維持に繋げる。 ・定期的な漫画、アニメによる町会・自治会活動の発信

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 531,360	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 280,310	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 280,310	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 780,310	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 154,000	声優出演費 16,500円×2名×2回=66,000円 声優出演費 22,000円×2名×2回=88,000円
	消耗品費	¥ 6,630	インク(カラー6色セット) 5,750円×1箱=5,750円 プリンタ用紙 880円(500枚入り)=880円
	印刷製本費	¥ 387,280	ポスター印刷費 50円×200枚=10,000円 フライヤー印刷費 50円×200枚=10,000円 台本発注費 1,000円×10冊=10,000円 漫画冊子発注費 119,093円×3,000冊=357,280円
	使用料及び賃借料	¥ 110,000	スタジオ使用料 22,000円×2回=44,000円 音響機材レンタル費 33,000円×2回=66,000円
	委託料	¥ 118,000	BGM制作費 10,000円×2話=20,000円 漫画仕上げ代 24,000円×2話=48,000円 漫画冊子仕上げ委託費 50,000円×1冊=50,000円
	対象経費の合計 (E)		¥ 775,910
(その他経費)	交通費	¥ 4,400	メンバー交通費 440円×2人×5回
	その他経費の合計額 (F)		¥ 4,400
合計額 (G) = (E + F)		¥ 780,310	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×984円
	企画打合せ（5回）	49,200 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	漫画冊子打合せ	147,600 円	5 人 × 2 h × 15 回 × 984 円
	脚本・漫画ラフ制作（2話）	118,080 円	1 人 × 60 h × 2 回 × 984 円
	動画制作（2話）	196,800 円	1 人 × 100 h × 2 回 × 984 円
	BGM打合せ（2話）	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
	合 計（A）	531,360 円	

No. 6

《 スタート助成 》

社会起業家・副業家としての
創業機運醸成事業

サステイナブルな市民活動研究所

事業計画書

事業名	社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業
団体名	サステイナブルな市民活動研究所

事業概要	
「会社員」と社会に貢献する「社会起業家」とを掛け合わせた新しい働き方の『社会副業家』というスタイルを提案。社会貢献の志を持ち自分の経験を活かしながら、人生 100 年時代の生きがいを創造していく事業です。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市は持続可能性に対して課題を抱えている市民活動団体が多い。特に「①活動資金面」「②後継者不足」の面が大きく、市民活動が活発な松戸市には早急な手立てが必要だと感じている。当団体は①に関して「市民活動の持続可能化支援事業」を令和 5 年度に当団体発足と同時に立ち上げ、収益モデル改善に向けた伴走事業を開始した。②の課題として令和 6 年度より「社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業」を新規に立ち上げることで、現役会社員の市民活動への積極参加を促進する事業を展開する。
事業の目的	強い思いのある松戸市の市民活動団体が、いつまでも活動を維持し続けていける社会の実現を目的とする。高齢化が進行する中、若手の力（特に現役会社員）を地域に接続させていくことが重要だと考え、現役世代の流入強化を図りながら後継者不足の課題解決を目指す。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>1-1. 社会副業家セミナー</p> <p>現役会社員が働きながら地域貢献をしたいと思える機運の醸成を図り、市民活動の即戦力とするために「社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業」を開始。外部講師と先輩起業家・副業家を招聘し、セミナーや対話を通し、自分がどう貢献できるかを考えながら、市民活動との接点も見つけていく。</p> <p>1-2. 共学共創コミュニティ MTG</p> <p>セミナー後も、働き方や人生のことを相談していけるサポート体制として「共学共創コミュニティ」を形成。リアルとオンラインのハイブリッドコミュニティとして、共助関係を育みながら心理的安全性の高い場づくりにも力を入れ、心が折れそうな時に支え合えるやさしい共助文化を形成する。自分のやりたいことを同期や先輩とブレスト×言語化していく「壁打ち」や「メンター」、「オフサイトミーティング」や「メンタルヘルス対策」などのプログラム（検討中）を“リアル”と“オンライン”で実施する。</p> <p>【社会副業家セミナー（7・10・3月）】</p> <p>◆企画案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会社員×社会起業家＝『社会副業家』という新たな生き方セミナー 2 社会副業家実践プレゼン 3 先輩が語る！社会副業家ぶっちゃけトーク 4 明日から「社会『副業』家」に踏み出すヒント

	<p>5 参加者交流～志直観ワーク など</p> <p>◆会場：松戸市民会館（仮）…タイミングよく予約が取れる市内施設</p> <p>◆定員：各回 20 名</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>広報まつど(7/1号)掲載申請、初回セミナー企画会議</td> <td>構成員 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>チラシ制作～周知活動</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>初回セミナー開催準備</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>7 広報掲載</td> <td>社会副業家セミナー① 広報まつど(10/1号)掲載申請</td> <td>構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>10 広報掲載</td> <td>社会副業家セミナー② 共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>広報まつど(3/1号)掲載申請 共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>共学共創コミュニティ MTG まつど地域活躍塾 8 期生へ勧誘</td> <td>構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> <tr> <td>3 広報掲載</td> <td>社会副業家セミナー③ 共学共創コミュニティ MTG</td> <td>構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	広報まつど(7/1号)掲載申請、初回セミナー企画会議	構成員 松戸市民会館（仮）	5	チラシ制作～周知活動	構成員	6	初回セミナー開催準備	構成員	7 広報掲載	社会副業家セミナー① 広報まつど(10/1号)掲載申請	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	8	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	9	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	10 広報掲載	社会副業家セミナー② 共学共創コミュニティ MTG	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	11	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	12	広報まつど(3/1号)掲載申請 共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	1	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	2	共学共創コミュニティ MTG まつど地域活躍塾 8 期生へ勧誘	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）	3 広報掲載	社会副業家セミナー③ 共学共創コミュニティ MTG	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																																						
4	広報まつど(7/1号)掲載申請、初回セミナー企画会議	構成員 松戸市民会館（仮）																																						
5	チラシ制作～周知活動	構成員																																						
6	初回セミナー開催準備	構成員																																						
7 広報掲載	社会副業家セミナー① 広報まつど(10/1号)掲載申請	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
8	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
9	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
10 広報掲載	社会副業家セミナー② 共学共創コミュニティ MTG	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
11	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
12	広報まつど(3/1号)掲載申請 共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
1	共学共創コミュニティ MTG	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
2	共学共創コミュニティ MTG まつど地域活躍塾 8 期生へ勧誘	構成員、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
3 広報掲載	社会副業家セミナー③ 共学共創コミュニティ MTG	構成員、外部講師、セミナー参加者 松戸市民会館（仮）																																						
事業の目標	<p>「社会起業家・副業家としての創業機運醸成事業」は、現役社員の市民活動への関与度を高めることで、団体の新規加入や後継者不足等の課題解消を図る。初年度アクションプランとして次の数値の目標達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年度内に 3 回のセミナーを開催／各回の目標は「20 名（年間 60 名）」。 ● 有志により共学共創コミュニティを育成、目標は「30 名」の入会者。 																																							
今後の展望	<p>「定年延長」「終身雇用の崩壊」などとこれまでの働き方の見直しが進む。100 年時代に持ち味を活かした自分を輝かせられる場を提供していく。現役世代が自分の力を活かした社会貢献をしていくことで、松戸では地域も個人も両者 Win-Win となる理想的な地域づくりを目指し、この仕組みが全国的なロールモデルとなるような存在感を示していく。</p>																																							

事業の予算概要

【収 入】

(単位:円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	会費収入	90,000	セミナー参加費1,000円×90人分
	自己資金の合計額 (A)	90,000	
市	市民活動助成金 (B)	100,000	
合計額 (C) = (A+B)		190,000	

【支 出】

	科 目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	60,000	外部講師謝礼 20,000円×3回
	消耗品費	10,000	事務用品 APPジャパン A4用紙セット他 4,000円 GPC Image(エプソンインク)他 6,000円
	印刷製本費	6,000	チラシ印刷 10円×200枚×3回(印刷代)
	委託料	23,300	チラシ制作・修正費 20,000円(基本版下デザイン料) 1,100円×3回(修正費)
	使用料及び賃借料	12,500	会場使用料 ①松戸市民会館(社会副業家セミナー) ①500円×3時間×3回 ②松戸市民会館(共学共創コミュニティMTG) ②500円×2時間×8回
	対象経費の合計(D)		111,800
その他経費	旅費交通費	12,000	交通費 1,000円/月×12ヶ月
	通信運搬費	39,600	Wi-Fi通信費 3,300円/月×12ヶ月
	通信運搬費	22,000	オンライン会議ツール 22,000円/年
	予備費	4,600	
	その他経費の合計(E)		78,200
合計額(F) = (D+E)		190,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 7

《 スタート助成 》

「おひとりさま安心」講演会・相談会事業

特定非営利活動法人

おひとりさま安心コンシェルジュ

事業計画書

事業名	「おひとりさま安心」講演会・相談会事業
団体名	特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ

事業概要	
<p>特に高齢者（独居高齢者）が抱える現在および将来の不安となる課題（①生活支援、②身元保証及び成年後見制度、③終活、死後事務（お葬式）、④その他（税金、年金、仕事等））について、税理士・司法書士・ケアマネジャー・社会保険労務士の専門職がそれぞれの専門分野を生かして、法的な問題も含む困難な相談や対応することで安心な生活を提供する。</p>	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市は、常盤平団地をはじめ独居高齢者を多く抱えておりながら、従来の成年後見制度の範囲内での対応に終始しています。</p> <p>そのような中、独居高齢者等を示す「おひとりさま」を冠した講演会や相談会を実施したところ、この「おひとりさま」という言葉が響いたという意見があったことをはじめ、従来の成年後見制度の支援活動だけでは、市民のニーズに応えているとはいえない状況です。</p> <p>他方、多くの市民団体やNPO等があるものの、「おひとりさま」という視点に立った活動が多いとはいえ、成年後見制度等に関して新たな方向性の展開が求められております。</p>
事業の目的	<p>「おひとりさま」の視点を加味した成年後見制度支援活動をすることで、市民の「おひとりさま」の意識を高め、更に表面下にあるニーズを模索しながら、独居高齢者、ご家族、関係者など多くの市民に対して、松戸市の課題解消と「おひとりさま」の安心な生活を提供できる事業を展開していく。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 「おひとりさま安心」講演会（閉会后相談会開催）</p> <p>市民への「おひとりさま」の意識を高めるため、独居高齢者や関係者に興味があるテーマで講演会を実施（従来の成年後見制度として「終活」などだけでなく、新しいテーマとして「『おひとりさま』でもより良い生活」をテーマに含める。例えば、“フレイル予防”として【おひとりさまの要介護予防講演会】など）。なお、講演会の後、同会場にて、成年後見制度をはじめとした相談会を実施。</p> <p>場所：市民劇場ホール（年3回） 定員：100名</p> <p>② 「おひとりさま安心」相談会</p> <p>地域と密着している自治会（老人会）と共同して、「おひとりさま」であっても安心して生活できるように、終活・お墓・介護保険外サービス、身元保証、死後事務、成年後見制度等の相談会を実施。</p> <p>相談会では、税理士・司法書士・ケアマネジャー・社会保険労務士の専</p>

	<p>門職が専門分野を生かして、相談者へ適切な支援を案内する。 場所：自治会館（岩瀬自治会等）（年3回） 定員：10名</p> <p>③ 地域包括支援センター、自治会への周知活動 上記、講演会・相談会のPRを通じて、当事業の目的である「おひとりさま」の安心な生活を提供できる団体として周知していく。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 577 1394 891"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>講演会</td> <td>構成員、松戸市民、市民劇場等</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>相談会</td> <td>構成員、松戸市民、自治会館等</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>相談会</td> <td>構成員、松戸市民、自治会館等</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>講演会</td> <td>構成員、松戸市民、市民劇場等</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>相談会</td> <td>構成員、松戸市民、自治会館等</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>講演会</td> <td>構成員、松戸市民、市民劇場等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各講演会・相談会について周知チラシ作成</p>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	6月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等	7月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等	10月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等	11月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等	1月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等	2月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
6月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等																				
7月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等																				
10月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等																				
11月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等																				
1月	相談会	構成員、松戸市民、自治会館等																				
2月	講演会	構成員、松戸市民、市民劇場等																				
<p>事業の目標</p>	<p>① 松戸市民等に「おひとりさま」の意識の醸成 【講演会の年間来場者200人以上】</p> <p>② 市民、ケアマネージャー、福祉施設等からの相談 【年間15件以上の相談】</p> <p>③ 身元保証等が必要な高齢者（独居高齢者）に、適切なサービス（終活・お墓・介護保険外サービス、身元保証、死後事務、成年後見制度等）を繋げる。</p>																					
<p>今後の展望</p>	<p>従来の成年後見制度の活動に加え、「おひとりさま」を掲げる講演会・相談会を通じて、（独居）高齢者、更に障がい者、そのご家族・関係者が直面し感じる将来および現在の明確な不安だけでなく漠然として不安にも対応することで、より多くの市民のニーズに応えつつ、「おひとりさま」が安心した生活できるように寄与していきたい。</p>																					

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 63,670	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 63,670	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 163,670	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 59,670	講演会 (1回) 松戸市民劇場ホール使用料11,000円 プロジェクター等使用料4,890円 講演会@15,890×3回 相談会@4,000×3回
	食料費	¥ 6,000	相談会参加者のための お茶菓子代 相談会 (1回4時間) 自治会館使用料4,000円 200円×10名×3回
	消耗品費	¥ 12,000	周知活動用封筒等、相談会用消毒筆記具等 ○周知活動分10,000円 (内訳) 角2封筒500枚：5,000円、 タックシール500枚：3,000円 コピー用紙A41000枚：1,000円 糊等文具：1,000円 ○相談会分2,000円 消毒用アルコール、茶菓子用皿や 紙コップ、筆記具10本等
	印刷製本費	¥ 30,000	パンフレット、チラシ 作製 チラシ：30,000円 (5円×1000部×6回)
	委託料	¥ 20,000	パンフレットデザイン 料 20,000円×1回
	通信運搬費	¥ 36,000	切手代@120円×50施設 等×6回
	対象経費の合計 (D)		¥ 163,670
その他経費			
	その他経費の合計 (E)	¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 163,670	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 8

《 スタート助成 》

殺処分ゼロに取り組む事業

あにまるランド

事業計画書

事業名	殺処分ゼロに取り組む事業
団体名	あにまるランド

事業概要
動物の抱えている様々な現状を人々に伝えていく啓発活動がメイン。 不幸な環境にいる動物達を救う為に出来ることは何かを追求し、人と動物が共生出来る社会作り、アニマルウェルフェア改善、殺処分 0 を目指して取り組んで行く。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市が掲げている「地域猫活動」「猫の避妊去勢手術」の認知が市民に不足している為、啓発活動を通じて、地域猫活動への意味を広めて行くと共に、実際に猫の被害に悩んでいる市民に、適切にアドバイスが出来るようなサポート体制が取れる環境を、あにまるランドで作って行く。地域猫活動をされている方、被害に悩んでいる方、その言葉さえも知らない方に、動物と共生する為に選択があることを広めて行く。動物愛護センターの連携をしながら里親探し、更に SNS を使用した発信を多く利用する。									
事業の目的	保護をした犬猫を抱えたボランティアさんには体力、金銭力、発信力に限界がある為、あにまるランドとしては啓発活動をメインに、多くの人々に知ってもらうことを一番に活動していく。 不幸な環境にいる動物達を救う為に出来ることは何かを追求し、人と動物が共生出来る社会作り、アニマルウェルフェア改善、殺処分 0 を目指して取り組んで行く。									
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① チラシ作成/チラシ配り（啓発用チラシ 3 種類・講演会用チラシ 2 種類）</p> <p>② ポスター&旗作成/掲示（啓発用ポスター 2 種類・講演会用ポスター 2 種類）</p> <p>③ 講演会開催</p> <p>④ パネル展開催</p> <p>⑤ 動物愛護センターとの連携</p> <p>⑥ 保護団体との連携/里親探し</p> <p>⑦ SNS 活用など。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td>勉強会、案出し （1 年間のスケジュール） ① チラシ作成&配布</td> <td>新松戸市民活動支援コーナー 配布は松戸市内・駅など。 （警察への届け出をする）</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>① チラシ配布 ②ポスター&旗作成/掲示</td> <td>松戸市内・駅など。 店舗や企業などにも声をかけて、チラシやポスターを貼ってもらう。</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4 月	勉強会、案出し （1 年間のスケジュール） ① チラシ作成&配布	新松戸市民活動支援コーナー 配布は松戸市内・駅など。 （警察への届け出をする）	6 月	① チラシ配布 ②ポスター&旗作成/掲示	松戸市内・駅など。 店舗や企業などにも声をかけて、チラシやポスターを貼ってもらう。
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など								
4 月	勉強会、案出し （1 年間のスケジュール） ① チラシ作成&配布	新松戸市民活動支援コーナー 配布は松戸市内・駅など。 （警察への届け出をする）								
6 月	① チラシ配布 ②ポスター&旗作成/掲示	松戸市内・駅など。 店舗や企業などにも声をかけて、チラシやポスターを貼ってもらう。								

	8月	① チラシ配り ⑦ SNS 活用 ③ 講演会開催	松戸市内・全国に向けた SNS 活動。 里見のりこ（予定） 里見ねこうらら代表 テーマ：地域猫について
	9月	④ パネル展開催 ⑤ 愛護センターとの連携	フリーマーケットに参加してパネル展を開催。または市民センター（市民劇場）を借りて行う。 愛護センターの現状や里親探しの情報について SNS を中心に発信し、更にチラシの配布を行う。
	10月	⑥ 保護団体との連携	松戸市内での里親探しを保護団体と連携して、チラシ作成、SNS 発信を行う。
	12月	③講演会実施	新松戸市民活動支援コーナー 対談講師：川野ひろし True heart 松戸代表 テーマ：殺処分ゼロにする為に
	2月	①②⑦ チラシ・ポスター作成、SNS 発信	松戸市内 YouTube 対談講師：講師：溝上 奈緒子（予定） 株式会社ねこ Laboratory（ねこけん） テーマ：動物と共生する為に
	3月	④ パネル展開催 ⑤愛護センターとの連携	フリーマーケットに参加してパネル展を開催。市民センター（市民劇場）を借りて行う。 愛護センターの現状や里親探しの情報について SNS を中心に発信し、更にチラシの配布を行う。
事業の目標	① ② チラシ作成、ポスター作成をし、松戸市民を中心に配って行く。 （チラシ1万部×5種類、ポスター100枚×4種類） ③ 講演会2回開催（参加者：各回50人） ④ パネル展開催（2回/年） ⑤ 動物愛護センターとの連携、様子を SNS 投稿していく。（2ヶ月に1回） ⑥ 保護団体との連携、里親探し ⑦ SNS 活用（YouTube、X、Instagram）合計フォロー1万名		
今後の展望	市民の方向けに、動物の飼育の基本が丁寧でわかりやすく説明してあるパンフレットなどの作成。 また、飼い主向けに責任やマナーなどが記載されたパネルの作成、地域猫や避妊去勢の取り組みがわかりやすく記載されたパネルの作成、講演会を開催していく。殺処分ゼロを目指した現状の説明、動物愛護センターの連携、里親探しなど、SNS を通じて広めていく。		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 295,950	事業の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 295,950	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 395,950	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	印刷製本費	¥ 104,350	チラシ1万部 20,870円×5種類 (啓発チラシ3種類・講演会チラシ2種類)
		¥ 13,100	A2ポスター100部×4種 13,100円 (啓発ポスター100部×2、講演会ポスター100部×2)
	消耗品費	¥ 68,120	インク代 5,000円 / パネル 6,312円×10種類
		¥ 5,000	普通紙 2,712円 / 印鑑・封筒 等 2,288円
	使用料及び賃借料	¥ 11,440	イベント会場費 2,860円×4回 (市民劇場第3会議室) (パネル展×2、講演会×2)
		¥ 5,940	利用料990円×6回 (市民劇場第3会議室) ミーティング、勉強会
	委託料	¥ 80,000	チラシ&ポスターデザイン 6,000円×10種類 パネルデザイン 2,000円×10種類
	対象経費の合計 (D)		¥ 287,950
そ の 他 経 費	食糧費	¥ 54,000	昼食費500円 (会員9名) ×12回
	交通費	¥ 54,000	交通費500円 (会員9名) ×12回
	その他経費の合計 (E)	¥ 108,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 395,950	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 9

《 スタート助成 》

『まつどちゃん』シリーズ製作事業


まつどアソビティ

事業計画書

事業名	『まつどちゃん』シリーズ製作 事業
団体名	まつどアソビティ

事業概要
<p>松戸の子どもたちが、市内各所を冒険しながら、視聴者に松戸の魅力や情報を届ける一連のYouTube番組『まつどちゃん』シリーズを製作し、配信する。企画・制作に際しては、市内から出演希望者・製作協力者・情報提供者等を募り、自治的で協働的な運営体制を築く。</p>

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>① 《子どもたちにとって魅力と価値のあるまちへ》</p> <p>今年度の「こども家庭庁」の発足に象徴されるように、近年、子どもの意見に耳を傾け、より子どもが幸せに暮らせる社会づくりにいかそうとする（子どもアドボカシー）意識が高まっている。これは、本市においても重要なテーマであり、0～14歳で約5万5000人いる松戸の子どもたちが幸せに暮らすことができる地域づくりは、我々、松戸の大人の責務である。</p> <p>② 《こどもの「あそび」を支えるまちづくり》</p> <p>本団体は、松戸市の子どもたちの「遊ぶ権利」を保障し、子ども達が豊かにあそぶことができる地域を目指して活動しているが、そのためには子ども達に「あそび場」を用意するだけでは十分ではないことがわかってきた。イベント開催や子育て環境の部分改善的な取り組みだけではなく、子どもを取り巻く地域社会全体が、かれらの自然なあそびを大切にす意識と習慣を持ち、地域全体にあそびを見守り・支える風土が根付くことこそが、子ども達の「あそび支援」のもう1つのあり方であると考えます。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>本事業で製作するのは、まちの人々から寄せられた情報（冒険のタネ）をヒントに、松戸の子どもたち（まつどちゃん）が冒険に出かけるドキュメンタリー番組である。</p> <p>本シリーズが子どもたちの主体的な「冒険（＝松戸をあそびまわる）」を軸に置くのは、結果としてそれが「子どもアドボカシー」の最良の手段だと考えるからである。子どもは「意見」するという方法ではなく、「反応」し「行動」することで自己を表現する生き物である。我々大人は、『まつどちゃん』たちによる松戸の街の冒険を支援し・見守る（視聴する）ことを通して、子ども達が感じ取る松戸の魅力に共感し、子どもたちが自分の生きるまちに求めるものに気づくことができるかもしれない。</p> <p>本シリーズの制作に際しては、企画から製作に至るまでを、有志市民による自治的で協働的な体制で行う。そのようにして製作するこのYouTube番組を、市民が多様な形で子ども達の「冒険（あそび）」を支えながら、子どもと一緒に新たなまつどを作り出すまちづくりの象徴として地域に根付かせ、よりよいまちの未来を創出する震源地として機能していくことを目指したい。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者（主に小学生） ・紹介コンテンツ（人・もの・場所） ・演出協力（楽曲・作品提供）等の募集 ・有志市民と組織する製作委員会による「冒険のタネ」の企画 ・撮影（冒険会議/冒険ロケ） ・編集 ・配信 ・広報 ・感想等の回収（アンケートフォーム） <p>配信は、本団体が運営する松戸キッズチャンネルにて行う。</p> <p>https://www.youtube.com/@matsudokids/featured ▶ </p> <p>本団体運営メンバーは、上記の事業の執行をとおして、多くの市民が多様な特技・専門性・職能等を発揮して番組制作に関わることができるようプロデュースする。（例：番組出演・撮影協力・情報提供・楽曲提供など）</p> <p>また、本団体が主催する「あそびやしき」等のあそび場とコラボレーションし、対面型とオンラインとのハイブリットな地域のあそび環境のモデルケースをつくる。</p> <p>番組の告知や、情報（冒険のタネ）及び出演者等の募集、感想の回収等は、本団体の SNS や市内公共施設等に設置するパンフレットにて行う。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 1122 1394 1429"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>企画の公表・出演者等の募集開始</td> <td>実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民</td> </tr> <tr> <td>5月 ～3月</td> <td>10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。</td> <td>実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	企画の公表・出演者等の募集開始	実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民	5月 ～3月	10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。	実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など								
4月	企画の公表・出演者等の募集開始	実施体制：団体スタッフ 対象：松戸市民								
5月 ～3月	10 回程度の撮影を行い、30 本程度の動画（10 分～15 分）に分けて配信する。	実施体制：団体スタッフ、有志市民 場所：（撮影）各ロケ地 （編集）事務所 対象：松戸市民								
<p>事業の目標</p>	<p>① シリーズ動画の総再生回数 2 万回</p> <p>この数値は、広く本事業の目的と価値を伝え、その後、より多くの市民を巻き込んだ企画に成長していくための中間目標として設定する。</p> <p>② 制作に関わる市民 100 人</p> <p>ここには、出演者、番組への情報提供者・制作協力者などを含む</p>									
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内・外での認知度をあげ、かつ、本事業のコンセプトの共有を行い、より多くの多様な市民で作り上げる番組に成長させていく。 ・YouTube チャンネルの収益化や、番組スポンサーの確保をとおして、収支の自立を目指す。 									

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 40,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 40,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 140,000	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 70,000	出演者 (子どものみ) (1,000円×40名) / 撮影助手 (3,000円×10名)
	消耗品費	¥ 10,000	パネル材 (5,000円)、松戸市地図 (4,000円)、筆記具 (1,000円) 等
	印刷製本費	¥ 40,000	ポスター制作費 (200部/5,000円) パンフレット印刷費 (5,000部/35,000円)
	対象経費の合計 (D)	¥ 120,000	
そ の 他 経 費	撮影機器	¥ 20,000	機器・器具等の購入
	その他経費の合計 (E)	¥ 20,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 140,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 1 0

《 スタート助成 》

高齢者の子育てスキルアップ事業

子育て+プラスゆとりにっこり

事業計画書

事業名	「レッツゆとにこ」高齢者の子育て支援スキルアップ事業
団体名	子育て+プラスゆとりにっこり

事業概要
子育てに必要な家族的な居場所を提供する為に多世代が交流できるイベントを開催、一方、高齢者ができる子育て支援のスキルアップを図り、実際に訪問サービスを展開します。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>① 子育て親の悩み：核家族化が進み、子育ての孤立は育児不安や更には、深刻な産後うつを招き、また共働きやひとり親の子育てでは余力ゼロの状況です。女性の社会進出の面からも、喫緊の課題と考えています。</p> <p>② 経験豊富な高齢者の存在：高齢社会の進む松戸市で、元気な高齢者が時間を余す状況に対し、楽しく子育て支援ができる場を提供したい。</p>
事業の目的	<p>子育て中の親を地域で支えたい高齢者が中心となって課題解決を願い、事業を展開します。</p> <p>① 高齢者自身が能力を発揮することで、生き活きと楽しみながら子育て支援することを目指します。</p> <p>② 高齢者ができる子育て支援のスキルアップを図り、実際の「子育ての孤立」や「育児不安」などの困難を軽減します。</p>
事業内容	<p>1. 事業内容</p> <p>I. 「ベビーキッズマッサージ講座」の主催（会場：まつど市民活動サポートセンター（以下、サポートセンター）） 講師：武市海里氏（他1名）「日本ワークライフバランスサポート協会」 内容：地域住民（定員20名）を対象に「ベビーキッズマッサージの効果と方法～」座学（1時間）を行います。更に、当団体会員（5名）はベビーキッズマッサージ実技講習（資格試験を含む2時間）を受け必要なスキルを習得し、II、IIIの事業に活かします。 方法：ホームページやチラシ等で広く受講者を募集します。講座により、身体的負担が少なく育児経験のある高齢者にできる支援方法として関心拡大を図ります。また資格取得した会員が、希望する親に支援サービスとして行います。</p> <p>II. 「ゆとにこイベント2024」の実施（会場：サポートセンター） 内容：①子育て中にリラックスできる多世代交流の場としてイベントを開催 ②家庭的な雰囲気の「おもちゃカフェ」の開催 方法：①資格取得したベビーキッズマッサージの他に、子育て相談、カウンセリングやトータルケア（ネイル・ヨガ・キッズダンスなど）を提供します。また、参加者への満足度や訪問サービスの希望調査を行い、個別的支援に繋がります。 ②家庭的な雰囲気の中で交流しながら、おもちゃを作成し子どもを慈しむ想いを作品に込めて表現し、実費販売により活動資金に充てます。また参加した親子の希望に応じてベビーキッズマッサージを行います。</p> <p>III. 訪問サービス「レッツゆとにこ」の実施 ベビーキッズマッサージを希望する親子を対象に、ゆとにこメンバーがご自</p>

宅に出向く訪問サービス「レッツゆとにこ」を実施します。また、話し相手になり子育て等に関する個別的ニーズを把握し親子の課題解決に繋がります。

2. スケジュール

実施月	具体的な取り組み	① 実施体制 ②対象 ③場所等
4月	I 「ベビーキッズマッサージ講座」主催 ・講座の広報活動 (情報誌掲載・チラシ・ホームページ他)	① 会員、外部講師 ② 地域住民・会員(資格取得希望者の個人負担2,000円/人) ③ サポートセンター(会議室)
5・8・11月	II-①習得スキルの活用 「ゆとにこイベント2024」開催 (年3回、5h/1回) ・イベント検討会議、広報活動(情報誌掲載・チラシ・ホームページ他) ・ベビーキッズマッサージの実施及び、モデル人形での体験コーナー	① 会員・ボランティアスタッフ ② 地域住民・会員 ③ サポートセンター(多目的ホール) <u>イベント名</u> ：5月 ふれあいの会 8月 涼みの会 11月 あたた会
6・7・9・10・12・1・2・3月	II-②「おもちゃカフェ」 (年8回、4h/回)開催 ・おもちゃ作成及びベビーキッズマッサージ実施	① 会員 ② 地域住民、会員 ③ サポートセンター(会議室)
5・8・11月	III. 「レッツゆとにこ」 訪問サービス検討(イベント毎のニーズを集約) ・訪問サービスの実施	① 会員(資格取得者など) ② 訪問サービス希望親子 ③ サポートセンター(会議室)・各家庭

事業の目標	<p>I. 高齢者の子育て支援スキルアップ講座の開催：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベビーキッズマッサージ講座」開催による地域住民参加者数20名 ・会員の「ベビーキッズマッサージ」資格取得(認定試験合格)5名 <p>II. 「ゆとにこイベント2024」の充実：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーキッズマッサージの提供親子5組以上 ・ゆとにこイベントの参加親子の増加(親子10組以上/回) ・ゆとにこイベント参加者延べ人数50名 <p>III. 訪問サービス「レッツゆとにこ」の実施：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問サービス「レッツゆとにこ」を2件以上実施 ・「レッツゆとにこ検討会」でイベント毎の育児不安等のニーズを集約
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者による子育てスキルアップ講座を評価及び内容を検討の上、2025年度講座を開催します。 ・訪問サービス「レッツゆとにこ」の拡充を図り、人材確保や子育てのニーズへの迅速な対応を目指します。

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団体	イベント関係入金	¥ 15,000	イベント家族参加費 500円×30家族
	イベント販売収入分	¥ 9,000	手作り品の販売 3,000円×3回
	団体拠出金	¥ 15,410	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 12,000	
	講座参加料	¥ 10,000	2,000円×5人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 61,410	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 161,410	

【支 出】

	科 目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 30,000	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃカフェ(手芸材料費) ・2,000円×8回(1.6万) ・ゆとにこイベント(出展用材料費) ・3,000円×3回(0.9万) ・ベビーマッサージ用モデル人形 ・5,000円(1体) 	
	食糧費	¥ 12,000	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てスキル講座「ベビーキッズマッサージ」※外部講師らの弁当と講義用飲料水 ・1000円×2人(0.2万円) ・「おもちゃカフェ」イベント(参加者用の菓子) ・500円×8回(0.4万) ・「ゆとにこイベント」喫茶・遊び場(景品)用(食料・飲料) ・2,000円×3回(0.6万) 	
	印刷製本費	¥ 15,000	・チラシ印刷料 ・5,000円(500枚)×3回	
	使用料及び賃借料	¥ 26,210	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室使用料:8回(おもちゃカフェ&定例会議) ・220円×4h×8回(0.704万) ・会議室使用料:5回(レッツゆとにこ検討会&定例会議) ・220円×3h×5回(0.33万) ・子育てスキル講座会場費「ベビーキッズマッサージ講座」対応 ・220円×6h×1回(0.132万) ・イベント会場費(片面使用料) ・550円×7h×3回(1.155万円) ・機材・器具レンタル料 ・1,000円×3回(0.3万円) 	
	保険料	¥ 4,200	・行事用保険料 全国社会福祉協議会《行事回毎加入》 ・4,200円(見込:28円×50人×3回)	
	委託料	¥ 5,000	・ホームページにおける新事業「レッツゆとにこ」対応コンテンツの制作委託 ・5,000円×1回	
	報償費	¥ 50,000	・子育てスキル講座「ベビーキッズマッサージ」講師謝礼 ・50,000円(2人分)	
	対象経費の合計 (D)		¥ 142,410	
その他経費	通信運搬費	¥ 15,000	・団体ホームページプロバイター使用料 ・15,000円(年間)	
	交通費	¥ 4,000	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てスキル講座講師の交通費 ・1,000円×2人 ・訪問サービス(1件) ・1,000円×2人(1回) 	
	その他経費の合計 (E)		¥ 19,000	
	合計額 (F) = (D+E)		¥ 161,410	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 1 1

《 スタート助成 》

ぶどうの家 おもしろ実習教室事業

特定非営利活動法人 葡萄の家

事業計画書

事業名	ぶどうの家 おもしろ実習教室 事業
団体名	特定非営利活動法人 葡萄の家

事業概要	
<p>障がいのあるなしに関係なく、参加できるイベントを開催する。</p> <p>参加者同士が、同じイベント内で、同じスペース・同じ時間を過ごす事によって、「障がい」というのも一つの個性だと理解してもらおう。</p>	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>多様性が必要とされる声が高まりつつある社会で、障がい者と一緒に参加できるイベントが少ない。</p> <p>松戸市の公共施設を活用していきたい。</p>
事業の目的	<p>障がいのあるなしに関係なく、参加者同士が、同じイベント内で、同じスペース・同じ時間を過ごす事によって、「障がい」というのも一つの個性だと理解してもらいたい。</p> <p>私たちのイベントは、講師の方々に、予め、障がいを持った方が参加しますと伝えてあります。途中で退席したり、大きな声をあげる人がいる事にも理解をしてもらっています。</p> <p>当年度は、今まで声をかけられなかった層、地域、施設等の人に周知して参加者を増やす事を目的に実施します。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>イベント名：ぶどうの家 おもしろ実習教室</p> <p>講師：日本技術士会のエンジニア（ボランティア参加）</p> <p>会場：松戸市民会館</p> <p>参加者：150名（3回講演の合計）</p> <p>参加費：無料</p> <p>対象者：松戸市民</p> <p>公益社団法人 日本技術士会のエンジニアの方々（8名）が、障がいのあるなしに関わらず、子供から高齢者まで楽しめる科学工作を優しく丁寧に指導してくれます。</p> <p>工作の材料（パーツやネジ等）、説明書は、予め一人分を袋に入れて準備します。</p> <p>例：2023年8月は、牛乳パックで作るプロペラ自動車を作りました。</p> <p>イベントの内容は、松戸市の広報や、地域新聞をはじめとする地域の情報雑誌に掲載をお願いする。</p> <p>これまで、情報誌だけだったので、団体のホームページに情報を載せる。ホームページ運用を依頼している企業に、より多くの人に周知してもらえようように情報拡散をお願いする。</p>

また、障がいについて理解を深めてもらうために、チラシを作成して当日、会場にて来場者全員に配布する。
さらに、地域の情報誌にイベントが終わった後の活動報告を記事にしてもらえるよう依頼する。

松戸市教育委員会・社会福祉協議会の後援を申請する。
障がいのある方にも気軽に参加してもらえるように、チラシ等の案内を特別支援学校などに送る。
無料で開催する事で、家族が揃って参加がしやすい。
アンケートを配り、満足度などを評価してもらう。
昨年度イベント実施時にとったアンケートでは、「子供たちが普段見せない、新しい一面が見れました。」と書いてありました。

2 スケジュール

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
R6. 4月	企画 打合せ	
5月	会場予約	松戸市民会館を予約
	後援申請	教育委員会・社協
	情報誌掲載依頼	広報・地域新聞など
	チラシ作成	発送
8月	おもしろ実習教室	松戸市民会館

事業の目標

1回の講座で50人を集める。 1日3回の講座を開く。
アンケートの評価で、「満足した」を70%以上もらう。

今後の展望

将来的には、NPO 法人葡萄の家で定期的で開催しているコンサートで収益を得て、その資金を「おもしろ実習教室」の材料費などに回して、長く活動をしていきたいです。
継続的にイベントを実施する事により、「障がい」への理解を深めてもらう。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 45,598	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 5,000	友人・知人より寄付
	自己資金の合計額 (A)	¥ 50,598	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 150,598	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 106,518	おもしろ実習教室の工作材料費 (パーツやねじ等 150名分) 100,000円 チラシ作成の印刷用紙・インク代 印刷用紙 873円 インク5色パック5,645円
	使用料及び賃借料	¥ 6,560	・201・202会議室 9時～17時 1部屋1,720円×2 ・市民会館備品レンタル 9時～17時 ワイヤレスマイク1,040円×2 ミキサーアンプ1,040円
	通信運搬費	¥ 2,520	チラシ郵送 84円×30通
	対象経費の合計 (D)	¥ 115,598	
その他経費	食糧費	¥ 19,500	講師・会員の昼食代 1,500円×13人
	交通費	¥ 13,000	講師・会員の交通費 1,000円×13人
	保険料	¥ 2,500	ボランティア活動保険 500円×5人
	その他経費の合計 (E)	¥ 35,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 150,598	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 1 2

《 ステップアップ助成 》

四世代のきずなで、豊かな
生活環境を実現する事業

小金原みんなでわくわくする会

事業計画書

	事業名	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業							
	団体名	小金原みんなでわくわくする会							
事業概要									
老人から孫まで、四世代がより健康で安全・豊かな生活ができる居住環境を実現するため、小金原地区における地域活動を SDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)の視点から再構成し、全世代参画のもとに助け合える魅力あるまちづくりの実現を目指す。									
取り組もうとする 松戸市のテーマ (課題)	小金原地区は、松戸市でも高齢化が進んでいる地域と言われており、若い世代へ街の魅力を十分に伝えられていないのが課題である。このままでは、「町内活動は高齢者がやるもの」というとらえ方で高齢化が益々進むと、現在の町内・地域活動すら提供できなくなってしまう可能性がある。								
事業の目的	四世代が、明るく健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動を SDGs 活動の一環として整理・進化させ、世代相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指す。								
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>この2年間で、SDGs の勉強、及び SWOT(強み弱み)によるまちの分析を完了し、活動テーマを4項目に絞った。R5 年度内にその活動計画の策定を予定している。それを受け、R6 年度は、その具体的活動を段階的に推進、展開する。更に、四世代が一同に会す第2回四世代交流会を企画している。これらの活動は、SDGs17項目の目標を念頭とした市民活動として、町会活動とは違った双方向のコミュニケーションを基本とした能動的活動の姿を目指す。</p> <p>活動計画に当っては、案件ごとのリーダーを決め、予算を念頭に推進する。</p> <p>活動テーマと主な活動;</p> <ol style="list-style-type: none"> ① グリスロの活性化(SDGs 3,7,11) <ul style="list-style-type: none"> ・乗降ルール、路線図、時刻表の周知、回覧(R6/4~6) ・体験乗車と町会イベントでの活用(グランドゴルフ等)(通期) ② 高齢者支援(SDGs 3,11) <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノート勉強会の開催(小金原三丁目町会館)(R6/5) ③ 落ち葉の堆肥活用化(SDGs 7,11,15) <ul style="list-style-type: none"> ・公園他の落ち葉回収とコンポスト設置(公園使用許可申請相談) ・できた堆肥で、公園、ごみ箱に花のプランター設置 ④ 町会館(小金原三丁目町会館)の活用化(SDGs 3,4,11) <ul style="list-style-type: none"> ・町会在住の埋もれた特技の持ち主を登録して、サロン会を企画(R6/10) 生け花、花の育て方、郷土歴史、パソコン・携帯の使い方等 ・夏休み子ども宿題相談会(工作、作文、学科等) ⑤ 第2回四世代交流会(SDGs 3,5,11)(R6/7) <ul style="list-style-type: none"> ・音楽会および全世代が参画できるゲーム等を計画する <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2024/5</td> <td>・第9回 SDGs 活動会</td> <td>実施体制;会メンバー、講師</td> </tr> </tbody> </table>			実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	2024/5	・第9回 SDGs 活動会	実施体制;会メンバー、講師
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など							
2024/5	・第9回 SDGs 活動会	実施体制;会メンバー、講師							

		①～④のリーダー選定と各活動計画内容の確認及び共有 ②エンディングノート勉強会	江戸川大学 佐藤秀樹先生 対象;地域住民 場所;小金原三丁目町会館
	2024/6	‘⑤第2回四世代交流会準備・打合せ、③コンポスト設置	実施体制;会メンバー、 対象;(同上)、場所;(同上)
	2024/7	‘⑤第2回四世代交流会 音楽会と集い;入学祝、 成人祝、古希祝	実施体制;(同上及び町会)、 対象;(同上)、場所;みやお か幼稚園及びやまばと公園
	2024/8	・第10回SDGs活動会 4活動の進捗状況共有	実施体制;(同上)(講師)、 対象;(同上)、場所;町会館
	2024/8	④夏休み子ども宿題相談会	実施体制;(同上)、対象;(小 学生)場所;(同上)
	2024/10	・第11回SDGs活動会 ①グリスロ、②高齢者支援中間 成果発表会 ④サロン会開催	実施体制;(同上)(講師)、対 象;地域住民、場所;(同上)
	2025/1	・第12回SDGs活動会 ‘③落ち葉の堆肥化、 ‘④会館活用の中間成果発表	実施体制;(同上)(講師)、 対象;(同上)、場所;(同上)
	2025/ 1～3	・活動報告と見直し、とりまと め:チラシ作成・配布	実施体制;(同上)、対象;(同 上)、場所;(同上)
既存の事業から ステップアップす る部分(ステップ アップ助成のみ)	R5年までにSWOT分析から抽出した4項目の活動テーマを選定し、その活動計画を策定した。ステップアップとして、R6年度は、地域の市民参画を促進しながらその具体的活動を逐次推進していく。 推進に当たっては、テーマ毎のリーダーによる予算管理の下、推進する。		
事業の目標	1. 活動5テーマの周知;掲示板及び回覧板に掲載する。 ① グリスロ;町会イベント活用4回以上、②高齢者支援;エンディングノート勉強会参加者20名以上、③堆肥活用化;コンポストの製作と花の栽培、④町会館活用化;参加者延べ60名以上、⑤四世代交流会;参加者80名以上 2. 各テーマ活動員の確保;(4テーマ)×(リーダー2名)の8名を中心として、4回/年の各SDGs活動会に20名以上(10～80歳対象)の地域住民が参加する。 3. 具体的活動の実施;実施状況進捗の掲示板及び回覧板に掲載、活動計画の80%以上の達成を目指す。		
今後の展望	上記活動の継続定着化 ① グリスロ;地域行事活用を積極的に推進し、町内の病院の送迎バス等との相互乗り入れ可否検討 ② 高齢者支援;エンディングノート勉強会参加者との定期交流会開催 ③ 堆肥活用化;落ち葉の堆肥化により、やまばと公園およびごみ箱のプランターを花一杯にすると同時に、家庭の生ごみについても低減、コンポスト活用について方策を提言する。また、咲かせた花の維持、管理体制を確立する。 ④ 町会館活用;町会講座として定例化		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 55,764	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,764	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 249,876	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 305,640	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳	
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 100,000	SDGs外部講師謝礼 25,000円x4回	
	消 耗 品 費		¥ 6,400	SDGs、SWOT 勉強会資料 用紙；1.1円 x 5P x 100セット x 2種 インク；2650円 x 2
			¥ 4,840	ブレインストーミング (SWOT分析で抽出した案件⇒SDGs活動テーマ) 模造紙；110円(4枚) x 10枚 マジック；110円 x 12本x2色 用紙；1.1円 x 1000枚
			¥ 104,500	コンポスト製作 サイズ：1800x1200x900H ブロック 1,200円 x (20個+12個x2) セメント袋(20kg) 1,800円x 6袋 鉄筋 (D19x1000) 850円 x 14 安全ポール 5,500円 チェーン 800円(2m) x 4個 コーン (ベッド付) 2100円x 4セット シート 2.7x3.6m 1,800円 帆布シート 2x2m 5,600円 こてセット他 4,500円
			¥ 7,200	ガーデン用具セット 3,600円 x 2セット
			¥ 15,000	チューリップ、水仙、他 球根：50円x 100個x 3種類
			¥ 5,600	プランター 400円x14個
			¥ 8,800	サポート支柱 880円(10本入)x10セット
			¥ 12,000	花壇柵用円弧ポール 1200円(4本入)x10セット
			¥ 3,300	エンディングノート 110円x30
		印刷製本費	¥ 10,000	・活動説明、活動成果 5円 x 1000枚x1回 チラシ印刷 20円 x 50枚x5回
		対象経費の合計 (D)		¥ 277,640
	そ の 他 経 費	食糧費	¥ 28,000	勉強会・会合 100円 x 50人x4回 作業のお茶代 100円 x 10人x8回
その他経費の合計 (E)		¥ 28,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 305,640		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

No. 1 3

《 ステップアップ助成 》

漫画・アニメで松戸の子育て PR 事業

超普通スタジオ

事業計画書

事業名	漫画・アニメで松戸の子育て PR 事業
団体名	超普通スタジオ

事業概要	
<p>松戸に住む子どもをターゲットに「キャラクターデザイナー」または「声優」としてご当地作品に参加体験イベントを開催します。また、子育て支援団体に取材を行い、松戸の子育て事業の魅力を発信する作品を制作します。制作した漫画は街頭で配布し、アニメは SNS や公共施設のモニターで放送します。</p>	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市は、子育てしやすい街づくりを最重要施策のひとつに掲げ、幅広い子育て支援を実施しています。「共働き子育てしやすい街ランキング 2022」において、全国編 1 位を受賞。保育インフラが整っていることが評価されます。しかし、それ以外の子育て関連のランキングや超普通スタジオが松戸駅前で行ったアンケートで評価は高くなく、仕組みとしては子育てしやすい環境なのに、松戸市民や周囲の人たちには、「保育インフラが整っている子育てしやすい街」という認知度の向上が課題と考えられます。</p>
事業の目的	<p><u>1. 松戸の子どもたちが参加する松戸のご当地アニメ制作</u> 松戸市に住む子どもが、松戸市を舞台にしたご当地作品にイラストレーター・声優として参加し、地元を知るきっかけにし、地域交流の場を広げ、松戸市の人に子どもの活躍する街＝子育てしやすい街という認識を広げます。</p> <p><u>2. 松戸の子育て事業発信アニメ制作</u> 松戸で子育て支援を行う複数の団体に脚本の監修に協力いただき、松戸の子育て事業をピックアップしたアニメを制作し、市内外の人に松戸は子育て事業が盛んという認識を持ってもらいます。</p>
事業内容	<p><u>①漫画・アニメ制作</u> ②で制作したキャラクターが登場し、③で参加した声優・プロの声優が参加する松戸を舞台にしたご当地作品を制作します。作品は「②のキャラクターが登場する松戸を舞台にした作品」を 1 本「松戸の子育て事業を紹介する作品」を 2 本の合計 3 本制作します。後者の作品においては、松戸市の子育て支援団体・他市の子育て支援団体が脚本監修に入り、松戸の子育て事業の魅力や他市との違いを中心にした内容での制作を予定しております。</p> <p><u>②松戸のキャラクター制作体験</u> 松戸の学生を対象に松戸のキャラクター制作体験イベントを開催します。講師は、プロで活躍するイラストレーターに担当いただき、学生に松戸に縁のあるキャラクターを制作いただきます。制作したキャラクターは①のアニメに登場します。学生の募集には、NPO 法人 MamaCan 様に協力いただき、フライヤー配布、ポスター掲示、SNS での発信、言伝などの方法で松戸市内の学生に広く周知し、募集サイトから申し込めるようします。（松戸市のレンタルスペースで実施予定）</p> <p><u>③アニメ声優体験</u> 松戸の学生を対象にアニメ声優体験イベントを開催します。①で制作するアニメ脚本でアフレコ参加いただきます。講師は、プロで活躍する声優方に担</p>

	<p>当いただきます。学生の募集には、NPO 法人 MamaCan 様に協力いただき松戸市内の学生に広く周知し、募集サイトから申し込めるようします。(松戸市の音楽スタジオで実施を検討中)</p> <p>④作品の公開 漫画は SNS で発信と同時に冊子化し、松戸駅前配布し、「松戸市が子育てしやすい街なのか」というアンケートを実施します。アニメも SNS で発信しつつ、公共施設のモニタで放送を計画しております。</p> <p>スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="432 566 1418 1182"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>②参加者募集</td> <td>②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>②キャラクター制作体験</td> <td>②構成員/松戸市民(イベント参加者)/松戸市内</td> </tr> <tr> <td>6~7</td> <td>①脚本制作</td> <td>①構成員、子育て支援団体 /地域住民/松戸市</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>③参加者募集</td> <td>②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>③声優体験</td> <td>③構成員/松戸市民(イベント参加者)/声優/松戸市内</td> </tr> <tr> <td>9~2</td> <td>①漫画・アニメ制作</td> <td>①構成員/地域住民</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>④漫画・アニメ公開 ④街頭アンケート</td> <td>④構成員/地域住民、全国民/SNS、動画サイト</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	②参加者募集	②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS	5	②キャラクター制作体験	②構成員/松戸市民(イベント参加者)/松戸市内	6~7	①脚本制作	①構成員、子育て支援団体 /地域住民/松戸市	7	③参加者募集	②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS	8	③声優体験	③構成員/松戸市民(イベント参加者)/声優/松戸市内	9~2	①漫画・アニメ制作	①構成員/地域住民	3	④漫画・アニメ公開 ④街頭アンケート	④構成員/地域住民、全国民/SNS、動画サイト
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																							
4	②参加者募集	②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS																							
5	②キャラクター制作体験	②構成員/松戸市民(イベント参加者)/松戸市内																							
6~7	①脚本制作	①構成員、子育て支援団体 /地域住民/松戸市																							
7	③参加者募集	②構成員、NPO 法人 MamaCan/松戸市民/松戸市内、SNS																							
8	③声優体験	③構成員/松戸市民(イベント参加者)/声優/松戸市内																							
9~2	①漫画・アニメ制作	①構成員/地域住民																							
3	④漫画・アニメ公開 ④街頭アンケート	④構成員/地域住民、全国民/SNS、動画サイト																							
<p>既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)</p>	<p>これまでは、第1段階目である「松戸を舞台にした漫画・アニメ作品が制作されていること」を「松戸市民」へ認知してもらうことを目的に活動してきました。わかりやすいサンプルとなる作品ができたことで、これからは市民が参加できる作品制作を行います。当団体のみが自己満足で制作する企画ではなく、市民が作品に参加できる松戸市一体となった作品へと昇華し、松戸の魅力的な事業を発信し、地域住民の交流できる環境の構築を行います。</p>																								
<p>事業の目標</p>	<p>A. 体験イベントへの参加者数【応募数合計：12人】 B. 漫画&アニメの閲覧数【合計：30,000回】 C. 街頭アンケートで、松戸市民が松戸は子育て事業が盛んという結果が2022年度実施の8%から【25%】までアップさせる</p>																								
<p>今後の展望</p>	<p>【2025年度】市民活動助成制度を利用した最終年度。将来漫画家やイラストレーター、声優を目指す学生や過去に目指していた大人たちが参加できる漫画・アニメ作品を制作。市民と一体となり、松戸の魅力的な事業を発信し、松戸愛に溢れた集大成となるご当地作品を制作します。</p> <p>【2025年度以降】全国展開フェーズとして、松戸市や松戸市の企業と連携し、漫画やアニメの制作、テレビ放送を行います。松戸市民に向けた作品・全国に向けた作品を制作していき、松戸市の魅力発信・地域活性化につなげます。松戸のPR と言えば、超普通都市マツド伝説と言われる作品に成長させ、松戸市の情報発信ツールとして成長させます。</p>																								

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	学生参加料(キャラクター制作)	¥ 5,000	1,000円×学生5人=5,000円
	学生参加料(声優)	¥ 5,000	1,000円×学生5人=5,000円
	団体拠出金	¥ 166,370	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 176,370	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 476,370	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 110,000	講師代(体験①) 22,000円=22,000円 講師代(体験②) 22,000円=22,000円 出演費(声優) 16,500円×2回=33,000円 出演費(声優) 33,000円×1名=33,000円
	消耗品費	¥ 11,530	インク(カラー4色) 1,360円×4種=5,440円 インク(黒) 1,580円×1種=1,580円 ポスター印刷用紙 2,750円×1箱(100枚入り)=2,750円 プリンタ用紙 880円(500枚入り)×2箱=1,760円
	印刷製本費	¥ 25,440	ポスター印刷費(体験①) 50円×100枚=5,000円 ポスター印刷費(体験②) 50円×100枚=5,000円 ポスター印刷費(アニメ) 50円×100枚=5,000円 漫画印刷費 104.4円×100部=10,440円
	使用料及び賃借料	¥ 154,000	会場費(体験①) 22,000円×1回=22,000円 会場費(体験②) 33,000円×1回=33,000円 スタジオ使用料(音声収録) 33,000円×1回=33,000円 機材レンタル費(音声収録) 33,000円×2回=66,000円
	委託料	¥ 159,000	楽曲制作費(アニメ) 10,000円×3話=30,000円 脚本制作費(漫画・アニメ) 10,000円×3話=30,000円 ポスター制作費(体験①) 33,000円 ポスター制作費(体験②) 33,000円 募集サイト制作 33,000円
	対象経費の合計 (D)		¥ 459,970
その他経費	交通費	¥ 16,400	交通費 1,200円×10回=12,000円 交通費 440円×10回=4,400円
	その他経費の合計 (E)		¥ 16,400
合計額 (F) = (D+E)		¥ 476,370	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

